

往電第五八七号ニ関シ本使尚熟考スルニ懸案借款ニ関シ支那側当初ノ考ハ仮リニ帝制实行ノ費用調達ノ為ナリシトスルモ其表面ノ申出ハ兎ニ角行政費補足ノ為トアリ且支那ノ事情ニ顧ルニ今回ノ借款ハ仮令流案トナルモ事実政費不足ノ為借款ヲナスノ必要ハ今後共起生スル事ナルヘク夫レ等ノ場合帝制延期ノ実挙カル迄ハ一切之ニ応セスト云フモ事実際限無キ義ニシテ偶以テ支那政府ヲ駆テ独逸国側ノ銀行ヨリ借款ヲ求ムルニ至ラシムヘク（独逸国銀行ニテハ現ニ相当ノ資力ヲ有スル模様ナリ）其結果貴電第三四七号御来

示ノ如ク支那政府ヘノ警告トナリ自然支那側ノ悪感助長其他面倒ノ成行ヲ誘致スヘキ次第ト存セラル旁以テ英国外務大臣提議ノ如ク帝制延期ヲ条件トシテ今回ノ借款ヲ許与スル事トシ以テ一方帝制問題ニ対スル帝國ノ立場支持ノ保障ト為スト同時ニ他面前記ノ如キ事体ヲ防遏スルノ途ニ出テラル方此際最モ得策ナルヤニ思考ス何分ノ義御考量ヲ仰ク

事項四 南潯鉄道ニ閔スル件

三八三 一月二十六日 岡商工局長ヨリ
坂田外務省通商局長宛

南潯鉄道視察報告書回覧二閔スル件

附属書

一月十四日付山田農商務省嘱託「南潯鉄道狀況」

商第五四七号

（一月二十七日接受）

大正四年一月二十六日

農商務省商工局長 岡 實

外務省通商局長 坂田重次郎殿

今般本省嘱託員山田修作ヨリ別紙南潯鉄道視察報告提出致
越候条御回覧ニ供シ至急御用済次第御返送相成度候也
追ア右報告ハ秘密トシテ公表相成ラサル様願上候

（附属書）

南潯鉄道視察報告書

大正四年一月十四日

南潯鉄道状況

上海 山 田 修 作

一、概要

四 南潯鉄道ニ閔スル件 三八三

南潯鉄道は将来之を延長して福建省と揚子江沿岸とを連絡する運命を有する交通線として夙に識者の注目を惹き我国費を投すること既に七百五十万円の鉅額に及ぶ而かも猶資金の欠乏を訴へ更に多少の資金を投するにあらずんば南昌迄開通し難き状態に在りと伝へらる

目下本鉄道は九江德安間三十二哩間一日一回の運転にて平均一日一哩十元の収入を挙ぐと称す本月十日以降建昌九江間約五十哩の運転を開始するも沿道何等物資の運搬すべきものなきより察すれば全線開通の暁迄到底一日一哩に付十元以上の収入を見ること困難なるべく如何にして借款の利息を（約四十八万円なり）支払ふべきやは焦眉の一問題たるなり

一、全線八十三哩 広軌単線

二、現在運転区域 九江建昌間四十七哩其間停車場數次
の如し、九江、賽湖、沙河、黃老門、馬廻嶺、德安
(新旧、二停車場あり) 建昌

三、運転回数 一日一回

四 南潯鐵道ニ閑スル件 三八三

三六二

四、汽罐車 使用中のもの四台(附屬品不足ノモノ二台アリ)

五、貨車 有蓋無蓋共に約三十台

六、客車 十四五台あり

七、光緒三十一年資本金三百八十万兩を強制的に募集し

以て南潯鐵路公司を設立せり現在公称資金四百万両と称す總理は吳鈎と云ひ熊希齡と同年進士にして嘗て奉天提法使たりしことあり江西人にして年四十八九總理として第三人目なり

八、技師長徐某唐山鐵路学堂出身前蘇省鐵路公司技師長

たりし人

九、社債 東亜興業株式会社より七百五十万円其他各方面よりの借入金を合算すれば九百万元内外になるべしと云へり

二、工事状況

一、九江より建昌停車場(県城を距る二哩)迄完了了一月十日運転開始一般の営業を開始せり

二、建昌停車場より山下渡に至る間楊柳津に於て修水の支流を横ぎる目下架橋工事中にして架橋工事は五月末竣工の予定なるが其以前に火車を通する為め仮橋

建設中建昌停車場より楊柳津迄三哩間はバラスト工事大部分完了せり

三、楊柳津、山下渡間はレール敷設を了れるも未だバラ

ストを埋めず

四、修水の架橋工事は目下開始準備中材料運搬用仮橋建設中なり本架橋は大正五年五月竣立の予定山下渡南昌間は本年二月中開業の予定の由にて線路は工事完了但南昌を距る二哩贛水の架橋は工事中なり

三、沿路の地勢

今回視察せる南潯鐵道沿線乃ち九江建昌県に至る一帯の地勢を見るに廬山の裏面に当り丘陵起伏し地味肥沃なれども平野頗る乏しく只徳安及建昌の二平野あるのみ今少しく細説すれば九江より沙河迄は湖水にあらされば丘陵にして附近猫額大の水田を見るのみ黃老門馬廻嶺附近は多少の展開地あれとも大凡幅員二三百米突の水田に過ぎず徳安縣迄は頗る平野に乏し徳安は徳安河に沿ふを以て稍や広き平野を形成す但し徳安河は徳安縣より上流は丘陵四辺を圍む從て徳安河の冲積層は徳安縣城より下流に向け展開す但し平均幅員二三千米突に過ぎざるが如し

五、經濟上より見たる本鐵道

斯の如く九江建昌間五十哩の南潯鐵道は其沿線に見るべき都會なく又平野の開けたる個處少なきを以て此区間に於ては到底多量の貨物を吸收すること能はざるべく從て南潯鐵道の經濟価値は将来九江、南昌間鄱陽湖水運と鐵道との競爭の結果如何並に修水上下貨物の幾割を鐵道により奪ひ得べきかに係る

南昌行貨物に対する民船、汽車兩者の競爭に就ては夏季増水季中に於ては鐵道は到底水運の競爭に勝へされども冬季減水期中十二、一、二月は其一部鐵道の便に拠る可しと考へらる

又修水上下貨物は比較的見るに足るものあり義寧安義方面よりは多量の茶紙其他煙草雜穀を出し之か返荷として外國貨物も亦相當に修水を溯る而して修水は夏冬水量の差山下渡に於て三十五呎に達することあり從て舟運の最も旺盛なる夏期増水季に於ては山下渡に於ける鉄橋は水面六七尺の高さを有するに過ぎざることとなるべきにより上下民船の多くは之が為に鉄橋通過の困難感すること甚しきものある可し且つ山下渡には厘金局あり上下民船皆茲處に於て停

さるなり

九江建昌間五十哩附近に於て稍や都會の形を為せるは徳安建昌(永修縣)及塗家舗の三邑にして其他は一村落に過ぎざるなり

徳安、永修は共に縣城なれども人口二三千荒涼たる一條の街に過ぎず商賈の見るべきものなく建昌に三五の糧行あるを除けば皆小売店にして而かも外國品の如きは煙草、燐寸、砂糖、石油、石鹼、売薬位に過ぎず

塗家舗は修水沿岸に於ける民船碇泊地にして山下渡鉄橋地点より下流二清里與城鎮の上流九十清里の地に在り人口五千市街の繁盛なること遙に徳安建昌の上に出づ

四 南潯鐵道ニ閔スル件 三八四

三六四

三八四 二月四日 在漢口瀕川總領事ヨリ
加藤外務大臣宛

南潯鐵道公司資本調達相談会開催ニ閔スル件

木書記生來信送付ノ件

附屬書 一月二十九日付在九江八木書記生ヨリ在漢口瀕

川總領事宛機密第一二号信写

同右件

機密第拾七号

(二月十二日接受)

大正四年二月四日

在漢口 總領事 濑川淺之進(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

大正四年一月二十九日附機密第十二号在九江

八木書記生來信写送付

(送付先日置公使)

件名

南潯鐵道公司資本調達相談会開催ノ件

(附屬書)

機密第十二号

写

大正四年一月二十九日

在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

總領事 濑川淺之進殿

南潯鐵道公司資本調達相談会開催ノ件

(一) 不急ノ工事ヲ延期スル事
(二) 局所ヲ合併スル事
(三) 冗員ヲ淘汰スル事
(四) 株券利息仕払ヲ延期スル事
(五) 各段工事事務所ヲ追々裁減スル事

資金調達方法五ヶ条

(一) 貨股ヲ推廣スル事
(目下輸出品ニ對シ強制的ニ或ル金額ヲ徵収シ株ヲ交
附シ居ルヲ他ノ輸入品ニモ及ホス事)

(二) 銀行ヲ開弁スル事

(三) 不用地ヲ貸与スル事

(四) 営業ヲ整頓スル事

(五) 新株ヲ募集スル事

以上逐條討議シ株券利子仕払延期ハ株主總会ヲ開キ決議
スル必要アリトシ銀行ノ開弁ハ全体之レヲ賛成シ、貨股
ノ推廣ハ弁法ヲ研究スルヲ要シ其他ハ皆總理ノ権限内ニ
テ行フヲ得ルモノニシテ論議ヲ要セズ(中略) 鉄道銀行
ハ先ツ九江ト南昌ニ於テ開弁シ貨股ニ付テハ羅朗山ヨリ
先ツ同業者(洋物店)ヲ集メテ相談シ新株募集ハ張勲及
支出縮減方法五ヶ条

四 南潯鐵道ニ閔スル件 三八四

三六五

四 南潯鉄道ニ関スル件 三八八

三七〇

会社々員ヘノ陳述要領「メモ」

大正四年三月二十三日

東京市麹町区有楽町一丁目一番地

東亞興業株式会社

電話本局二六七〇番

外務省

小池政務局長殿

拜啓江西鉄道不足資金再統借ニ関スル報告書別紙ノ通り差出候間御查閱被成下度此段奉得貴意候也 拝具
(附属書)

江西南潯鉄道工事完成迄ニ要スル資金不足額

再統借ニ關スル件

江西南潯鉄道工事資金ハ大正二年二月一日第一回借款五百万円ヲ貸付ケ其後昨三年五月金五拾万円ヲ第一統借トシ七月ニ於テ金貳百万円ヲ第二統借トシテ貸付ケタルモノナルガ當時本線ノ主要工事タル徳安、楊柳津、山下渡ノ三大橋梁ハ楊柳津ノ外設計未了ノ故ヲ以テ工事請負契約ヲ訂結スルニ至ラズ此等ノ外土工ハ大約完了シタルモ九江南昌停車場建物其他運転及營業ニ必要ナル諸工事及設備モ着手セサ

ルモノ多キ有様ニテ全線完成迄ニ要スル資金ハ鉄路公司ノ概算ニ於テハ二回ノ統借貳百五拾万円ヲ以テスレハ不足ナシト言明シタルモ其後昨年八月工事部ノ予算ヲ提出シ来リタルニ同年七月ヨリ本年十二月マテニ全部完成スルモノトシテ立案シタル其總金額ハ工事部丈ニテ貳百九万八千余元ヲ要シ總係費營業費及借款利息ヲ含マサルモノナレバ昨年十月下旬九江ニ於テ鉄路公司当事者ト会合シ工事部ヲ始メ全部ニ亘リ精細ナル予算ノ提出ヲ求メタルニ十二月上旬ニ至リ一タヒ之ヲ提出シタルモ工事費貳百貳拾五万七千元総係費營業費借款利息計八拾四万壹千元合計參百九万八千元ヲ要シ之ニ対シ營業収入拾萬元貨股八萬元及預金百五拾万元合計百六拾八万元ヲ差引キ不足百四拾壹万元之ニ車輛購入費約參拾万元尚工事費予算ノ遺漏ヲ精密ニ検査スレハ少クモ二三十万元ノ追加ヲ要スルモノト認メ不足約貳百万元ニ近キヲ以テ更ニ總協理ト会合シ不急ノ工事ヲ削除シ経費ノ節約シ得ヘキモノハ出来ル丈節約スル方針ヲ以テ再調ヲ命シタル結果本年二月上旬ニ至リ提出シタル予算ハ不足百万元ニ減シ其不足額ニ対シ前契約ニ繼続シテ借入レタキ希望ヲ述ヘ之レガ相談ヲ正式ニ書面ヲ以テ提出シ來リタルモ

尚其予算ノ内容詳細ヲ欠キ完全正確ナルモノト認メ難キ点多ク若シ之ヲ標準トシテ商議ヲ進メ後日ニ至リ再ヒ資金ノ欠乏ニ遇フガ如キ場合アリテハ云フベカラサル失体ナレバ

二月下旬坂田技師ノ來着ヲ待チ更ニ慎重ナル審査ヲ遂ケ鉄路公司当事者ト評議ヲ尽シ査定シタル結果稍完全正確ト認ムヘキモノヲ提出シタリ是ニ由レバ収入及預金ヲ差引キ其

不足ハ尚百六拾万円ニ達スルヲ以テ改メテ別紙(第一号)^(註)書面ヲ以テ右不足資金ノ統借方ヲ申込ミ來レリ
其予算概要左ノ如シ

江西南潯鉄路公司予算一覽表 本年一月ヨリ
支出ノ部 一二月ニ至ル

	貨股	貨物
一洋五拾貳万五千貳拾六元也	一洋拾万貳拾五万元也	計貳拾五万元也
一洋參万八千貳百參拾貳元也	洋四拾万元也	内
一洋百八拾万六千八百六拾貳元也	洋五拾万元也	本年一、二月支出済金額
一洋參拾五万九千參百五拾元也	洋九万六千壹百元也	東亞興業会社預ケ金
計貳拾八貳万六千貳拾參元也	計九拾九万六千百元也	銀行預金及手許有高

再差引不足百六拾万百拾參元也

右予算編成ニ就テハ再三調査ヲ遂ケ務メテ遺漏無キヲ期シ且ツ万一千ノ予備トシテ工事費總額ノ百分ノ五ヲ計上シアレハ今後再ヒ不足ヲ告クルコトナク稍正確ナルモノト認メタリ尚本予算ノ内容概要ハ別表(第二号)^(註)ヲ以テ表示スベシ南潯鉄路将来ノ收入予想ニ就テハ現在山下渡楊柳津ノ橋梁及南昌ニ於ケル停車場其他ノ設備完成セサルヲ以テ唯旅客ノ運輸ヲナスノミニテ貨物ノ運輸ハ來年六月以後山下渡ノ橋工完了ヲ俟タサルヘカラズ故ニ本年ノ收入ハ別表第三二八單ニ旅客ノミヲ以テ拾九万余元ノ收入ヲ挙クル予算ナレトモ本年二月四日南昌(瀛上)九江間開通以來二ヶ月ノ今

一洋拾五万元也

收入ノ部

一洋拾五万元也

營業收入

四 南潯鐵道ニ閔スル件 三八八

日ニ至リ漸ク一日四百元ヲ收取スルニ至リタル情態ナレバ
当事者ハ之ヲ内輪ニ見積リ本年度ノ収入ヲ拾五萬元ト為シ
タルモノナリ而シテ将来全線完成後果シテ幾何ノ収入ヲ挙
ケ得ルヤ極メテ重大問題ナレバ漠然タル予想ヲ立ツルヲ得
ズ鉄路当事者ト協力シテ之レガ材料ヲ蒐集シ大ニ攻究スル
外ナシト認ム

右報告候也

大正四年三月

東亞興業株式会社

書記 成田 鍊之助

(附 記一) 註 別紙第一号及別表第二号省略

三月十四日小池政務局長及古市東亞興業總裁

会談内容「メモ」

大正四年三月十四日東亞興業會社古市總裁來省小池政務局
長ニ対シ最近南昌九江方面ノ視察ヲ遂ケ帰来シタル東亞興
業會社員成田鍊之助ノ報告ニ依レバ南潯鐵道ノ現状ハ更ニ
約百六十万円ノ借款ヲ必要トスル次第ナルガ東亞ニ於テハ
最早此上借款ニ応スルコトハ拒絕シ度キ意図ニシテ今後ノ

三七二

善後策トシテハ寧ロ南潯鐵道ヲ支那政府ノ国有トナス方得
策ナルヘシト思考スル旨ヲ述ヘタルニ付政務局長ハ右ハ十
分考究ヲ要スルコトニモアリ兎ニ角同總裁ノ九江着(古市
總裁ハ近々支那ニ向ヒ本月二十九日頃九江着ノ予定)ノ頃
迄ニ外務省ノ意図決定ノ上何分ノ義申進スヘシト答ヘラレ
タリ(政務局第一課作成)

(附 記二)

三月二十七日小池政務局長ヨリ成田東亞興業

会社々員ヘノ陳述要領「メモ」

大正四年三月二十七日東亞興業會社々員成田鍊之助氏ノ來
省ヲ求メ小池政務局長ヨリ同氏ニ対シ南潯鐵道問題ニ閔シ
古市總裁九江着日取迄ニハ本問題ニ閔スル政府ノ方針ニ付
何等申送ルヘキ旨約シ置キタルモ當時ノ予想ト反シ右鐵道
問題關係ノ案件ハ現ニ進行中ノ日支交渉會議ニ於テハ未タ
議題ニ上ルノ運ニ至ラス右ノ次第ナルヲ以テ外務省ノ閔ス
ル限りハ本問題ハ暫ク之ヲ現状維持ト為シ置度意向ナルニ
付此旨古市總裁ヘ通報アリ度キ旨申述ヘラレタルニ同氏ハ
委細旨ヲ了シテ退出シタリ(政務局第一課作成)

三八九 三月三十一日 上山農商務次官宛(ヨリ)

松井外務次官

南潯鐵道工事ニ從事セル日本技師ノ不評ニ鑑

ミ其人選ニ付希望申越ノ件

(四月一日接受)

商第三四〇九号

大正四年三月三十一日

農商務次官 上山 滿之進(印)

外務次官 松井慶四郎殿

支那ニ於ケル南潯鐵道布設ノ経過ニ閔シテハ既ニ御了知ノ
コトト存候處今般北支那派遣官鶴見農商務書記官ヨリ右鉄
道工事ノ欠陥多カリシカ為メニシテ日本技師ノ不評

其極ニ達シ邦人ノ技術ニ対スル信用失墜セルノミナラズ延

テ其他ノ各種事業ニ於ケル事業ノ為メ技術家ヲ及

ホセル趣ニテ事單ニ一技師ノ失敗ニ留マラザル重大事件ト

思料セラルルヲ以テ今後支那ニ於ケル事業ノ為メ技術家ヲ

派遣スル場合ニハ大ニ其人選ヲ慎ミ再ビカカル失敗ナカラ

シメンコトヲ切望スル旨報告致候條御参考迄此段申進候
也

三九〇 四月二日 在漢口瀬川總領事ヨリ

加藤外務大臣宛

南潯鐵道統借ニ閔スル外間ノ風評八木書記生

報告転報ノ件

附属書一 三月二十九日付在九江八木書記生ヨリ在漢口
瀬川總領事宛機密第二五号信写

同右件

二 四月一日着在九江八木書記生ヨリ在漢口瀬川
總領事宛電報第九号写

(四月九日接受)

機密第四十号

大正四年四月二日

在漢口

外務大臣男爵 加藤高明殿

總領事 濑川 浅之進(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

大正四年三月二十九日附機密第二十五号及來電第九号、在

九江八木書記生來電並來信写送付

送付先 在支公使

件名

南潯鐵道統借ニ閔スル外間ノ風評報告ノ件

(附属書一)

写

機密第二五号

大正四年三月二十九日

在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

総領事 濑川浅之進殿

南潯鐵道統借ニ閔スル外間ノ風評報告ノ件

南潯鐵道不足資金統借ニ閔シテハ地方人間既ニ鉄路公司總協理ハ營業權ヲ東亜興業会社ニ渡シテ統借スルノ契約成立セリトノ噂伝ハリ南昌新聞紙之レヲ書立テ攻撃ノ記事ヲ掲載セル為メ鉄路公司ハ其事實ニ非ラサル事ヲ声明シテ取消ヲ申込ミタルモ不足工費調達ノ方法ニ付テハ公司ニ於テ成竹ナキヲ以テ一般人ハ矢張リ苛酷ナル新条件ヲ加ヘテ東亜興業ヨリ借入外ナキヲ知リ新聞紙ハ依然虚実相雜ヘタル種々ノ風説ヲ掲ケ鉄路公司當局ヲ以テ鉄路ヲ日人ニ売ルモノトナシ毎日激烈ノ攻撃ヲ統ケ居リ候

統借問題ニ關シテハ北京政府ヨリモ查問ノ電報來リ吳總理ハ數日前南昌ニ於テ政務府長（目下巡按使代理）ノ尋問ヲ

ハ工事ヲ視察シ四月五日出發帰京スベシ

三九一 四月十三日 在漢口瀬川總領事ヨリ
加藤外務大臣宛

在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

総領事 濑川浅之進殿

交通部ヨリノ南潯鐵道借款禁止ノ來電ニ閔ス
ル八木書記生報告ノ件

同右件

（四月二十二日接受）

公信第一〇七号
大正四年四月十三日

在漢口

外務書記生 八木元八

在漢口

南潯鐵道總協理宛、貴電ノ趣悉知ス、該路外資ヲ借用シ

始終未タ政府ノ核准ヲ経ズ、本月二十一日ノ來函ヲ查閱

リ北京政府ヨリ查明ノ電報アリ鉄路公司ハ其事實ニ非ラサ

ル旨ヲ電覆シタルニ対シ先般交通部ハ左ノ電報ヲ鉄路公司ニ発シ來リタル由ナリ

『南潯鐵道總協理宛、貴電ノ趣悉知ス、該路外資ヲ借用シ
スルニ興業会社借款合同内ニ若シ不足生スレバ尚統借ス
ルヲ得トアルニ因リ論ヲ奉シ自ラ調達ヲ行フベク當サニ
其旨声明ス等ノ語アリ、右合同ハ未タ批准ヲ得ズ何ソ擅
ニ引用シテ漫リニ制限無キヲ得ンヤ、本件ハ声称ニ拠レ
バ事實ニ非ズト云フト雖畢竟該公司從前通令ニ遵ハズ擅

送付先 在支公使

件名

交通部ヨリノ鐵路借款禁止ノ來電ニ閔スル件

(附属書)

受ケタル由ナリ、鉄路公司羅協理ハ病ト称シ（實否不明）
テ南昌ニアリ吳總理ハ諸方ノ攻撃ト内部資金ノ遭難リニテ
恰ンド窮境ニ陥リ居リ技師長及工務課長ハ相前後シテ漢口
及北京ニ赴キ未タ帰潯セズ公司内部ハ目下頗ル苦悶ノ状相
見工候

右及報告候也

(附属書二)

在九江八木書記生ヨリ在漢口瀬川總領事宛電報第九号

（四月一日着）

南潯鐵道問題ニ付吳總理古市公威ニ談話ノ件

第九号

三月二十九日附機密第二五号拙信ニ閔シ吳總理南昌ヨリ來リ古市公威氏ニ語ル所ニ依レハ地方ニ於テハ四月一日ヨリ鉄道營業權ヲ日本ニ渡ストノ噂起リ北京ヨリモ取調べノ電報アリ自分ハ夫々弁解シ居ル際ニ付顧問ノ南昌行ハ見合ハサレタシ統借問題ニ付テハ右ノ次第三テ自分近々北京へ赴キ中央政府ノ助力ヲ請ヒ出来サルトキ更メテ協議ヲ開ク様致シタシトノコトニテ總テ現状維持ニ決シタリ古市公威氏

四 南潯鐵道ニ閔スル件 三九二

三七六

二外資ヲ借り以テ此度報紙ノ誤伝ヲ致セリ、本部唯嚴重
ニ取締リ以テ紛擾ヲ避ケルアルノミ、並ニ巡按使ニ電報
シ查禁セシム云々 交通部』

右電報ハ吳總理ガ過般古市東亞興業社長ニ面会ノ為メ九江
ニ来ル前ニ接到セルモノニシテ吳ハ右電報ニヨリ統借問題
ニ閔スル態度ヲ変シタルモノト存候

右及報告候也

大正四年四月二十八日附機密第三十号在九江大和久書記生
來信写送付

送付先 在支公使

件名

南潯鐵道近況其他ニ閔シ報告ノ件

(附屬書)

機密第三十号

大正四年四月二十八日

在九江

外務書記生 大和久義郎

在漢口

南潯鐵道近況其他ニ閔シ報告ノ件

ノ件

附屬書 四月二十八日付在九江大和久書記生ヨリ在漢口

瀬川總領事宛機密第三〇号信写

同右件

機密第五〇号

大正四年四月三十日

在漢口

總領事 瀬川淺之進(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

南潯鐵道ハ年ヲ重ヌル事十一年資金ヲ投スル事已三九百万

円ニシテ然モ徳安、楊柳鎮、山下渡ノ架橋工事ハ未タ完成
ニ至ラス線路モ建昌以南ハバラスト工事ヲ了セズ從テ線路

左ノ通りニ有之候

南潯鐵道ハ前陳ノ通リ九百万円ヲ費シタルニ尚全然完成迄
倉組ノ契約期間内ノ完成ヲ切望セリ

鐵道公司ハ前陳ノ通リ九百万円ヲ費シタルニ尚全然完成迄
ニハ更ニ二百万円ヲ要スル次第ニテ其支途ハ架橋工事費、
及右ニ用ユル材料購入費、バラスト敷設費、土工費、保線
費、機関車列車購入費(目下機関車四台アリ普通三列車運
転セシムルニハ十四五台ヲ要ス)「ラウンド、ハウス」、
其他雜費ナルモ目下ノ情態ニテハ到底多額ノ資金統借ハ不

可能ナレハセメテ差当リ必要欠クヘカラサル費用トシテ百
万円位ノ資金ヲ調達セサル可カラス実ハ已ニ東亞興業會社
側へ内談シタルカ北京政府ニテ反対起リ遂ニ中止スルニ至
レリ因テ火急ニ要スル資金ノ支途ニ付キ吳總理ハ運動ノ為

本月十七日九江ヲ經テ北京ニ向ヘリ中途徐州ニ張煦ヲ訪フ
テ資金調達ニ付キ内談スル筈ナリ張ハ江西ノ出身然モ南潯
鐵道ニハ大株主ノ一人ナル關係上統借ノ件ニ閔シ張ノ意向
ヲ探ル必要アルカ為ナリ吳ハ北京ニ於テ南潯鐵道資金不足
ノ内情ヲ訴ヘ北京政府ヲ動カシ不取敢百万元位ノ程度ニ至

ニ入り再ヒ工事ニ着手シ難ク勢ヒ今秋減水期迄放棄セサル
減水ヲ見越シ何トカシテ契約期日迄ニハ完成スヘシト意氣
期日迄ニ工事ノ完成ヲ見可キヤ疑ハシキモ大倉組ハ今一回
柳鎮(建昌ノ附近)ハ本年五月中ニ山下渡(建昌南)ハ來
年五月迄ニ工事完成ノ約束ニテ大倉組之レヲ受負タルカ徳
安、楊柳鎮ハ先月並ニ本月二回ノ浸水ニ出合ヒ為ニ果シテ
込ミツツアリ右完成ノ上ハ南潯鐵道開通上ニ多大ノ利便ア
リ若シ万一日下ノ浸水情態五月中旬ニ及ハハ例年ノ増水期
ニ入り再ヒ工事ニ着手シ難ク勢ヒ今秋減水期迄放棄セサル

四 南海鉄道ニ閣スル件 三九三

テ支出ヲ稟請シ万ー其方不結果ニ終ラハ更ニ東亞興業会社側ト続借ノ件承認セラル様嘆願スルナランモ余（徐技師長）ノ見込ニテハ多分北京政府ハ七八十万元位ハ何トカ工面シテ支出スルナラン然シテ吳總理ハ茲十四五日ノ内ニハ帰省スヘシ蓋シ五月二十六日ハ南昌ニ於テ株主總会ヲ開ク予定ナレハ其以前ニ各方面ノ準備ヲ為シ總会ニ臨マサル可カラサルカ為ナリ云々次テ大倉組工事受負主任熊谷直道氏ニ就テ右受負工事ノ現状ヲ尋ネタルニ同様ノ回答ヲ得タリ尚又大倉組工事監督ノ為東亞興業会社ヨリ派遣セラレタル坂田技師ヲ訪ヒ借款ノ意向ヲ叩キタルニ東亞興業会社ハ已ニ七百五十万円ヲ貸付ケタルニ南潯鉄道ハ如何ニ発展スルトシテモ江西省内ノ貨物ハ鄱陽湖水運ノ競争アリ且又内地釐金ニシテモ湖口税局（水運ノ場合ニ課スル内地釐金局）同様ノ率ヲ鉄道貨物ニモ課スル事ニ決定セル今日到底以上貸付金ニ対スル利息ヲ産出スル事スラ六ヶ敷ヲ以テ更ニ先方ノ望ム如キ多額ノ続借ハ計算上一考ノ価値ナク只政策上ノ見地ヨリ我利權ノ獲得手段トシテ南潯鉄道ノ内政ニ充分肉薄シ得可キ条件ナラハ百万円位ノ続借ハ東亞ニ於テ承諾スルナランカ北京政府ニ於テ何トカ工面ヲ付ケ続借問題ヲ

起サヌシテ解決セラルニ至ラハ彼我ノ幸ナリ云々右御参考迄ニ及報告候也

三九三 五月十四日 在漢口瀬川總領事ヨリ

南海鉄道問題ニ付吳同鐵道總理北京出張ニ閣

シ李盛鐸談話ノ件

機密第一三二号 (五月二十二日接受)

大正四年五月十四日

在支那

特命全權公使 日 置 益(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

南潯鉄道ハ資金欠乏ノ為同鐵道總理吳伯琴同鐵道ヲ国有ニ変更セシメン為來京運動中ナル旨当地漢字新聞ニ掲載有之候ニ付五月十三日船津書記官ハ參政院參政李盛鐸（江西省人）ニ面会ノ序ヲ以テ事實如何ヲ問合セタル処李ノ言フ所ニ拠レハ南潯鉄道ハ九江南昌間ノ工事大略落成シタルモ重要ナル架橋工事未タ竣工セス而シテ同工事ノ完成其他ニ要スル経費ハ尠クモ尚百余万弗ニ達スル處目下同鐵道会社ハ日本ヨリノ借款ハ既ニ其大部分ヲ消費シ僅カニ五十万弗内

外ヲ余シ居ルニ過キサルヲ以テ更ニ外債ヲ起スカ或ハ他ニ可然方法ヲ以テ前記所要ノ金額ヲ調達スルノ必要アリ然ル

ニ同鐵道ハ一昨年第二次革命ノ際官軍ノ為ニ非常ナル損害ヲ被リ其被害見積額約五六十万弗ニ達スル由ニテ中央

政府モ之ヲ承認シ財政上ノ都合ツケハ相當金額融通出来ルヤモ難計旨言明アリシ干係モ有之候旁同鐵道總理吳伯琴ハ

過日來出京交通部其他當局者間ニ如何ナル名義ニテモ差支ナキ故不敢前記金額融通方請願運動中ナル由尤モ日本借款利子払込ヲ二回丈ヶ延期スレハ前記金額ヲ会社自身ニテ

調達シ得ル見込アルモ借款契約中利子払込怠納四回ニ及ヘハ債權者ニ於テ同鐵道ヲ經營管理スヘシトノ条項アル為此方法ヲ取ルコトモ面白カラストテ前述ノ如キ手段ヲ取ルコ

トニ決定シ折角運動中ナルモ果シテ成功スルヤ否ヤ目下ノ処少々疑問ナル由右ハ李談話ノ大要ヲ其儘略記セシモノニテ或ハ多少事実ト相違セル点有之ヤモ難計被相考候へ共御参考迄此段及報告候也

本信写送付先
在漢口總領事

写

機密第三三号

(附屬書)
南潯鉄路架橋工事其他ニ閣スル件

三九四 六月二日 在漢口瀬川總領事ヨリ
加藤外務大臣宛

四 南海鉄道ニ閣スル件 三九四

三七九

三七八

在九江

外務書記生 大和久義郎

在漢口

総領事 濱川浅之進殿

南潯鐵道架橋工事其他ニ閔スル件

南潯鐵道架橋工事ハ我大倉組ノ受負工事ニ属シ内徳安、楊柳津ノ両工事ハ五月末日ヲ以テ竣工ノ契約ナリシモ前便報告ノ通り客月來連日ノ降雨ノ為予定ヨリ一ヶ月以上増水期ヲ早メ四月中旬以来遂ニ工事中止ノ止ムナキニ至リ候處五月初旬天候恢復シ漸次減水ニ向タル結果大倉組ニ於テハ又復全速力ヲ以テ工事ニ取掛リ居リシニ不幸時局ノ為五月六日全員一時九江ニ引上ケ折角ノ工事モ挫屈ノ状態ニ陥リ候次テ時局平和解決ノ報ヲ得本月十日更ニ原場ニ引返シタルニ幸ヒ天候引続キ良候ニシテ日々非常ノ速力ニテ減水シ工事上愈順調ニ向ヒ今日ノ處ニテハ多分六月十五日頃迄ニハ以上二ヶ所ノ契約工事竣工ヲ見ルニ至ル予定ニ運ヒ候原契約ニハ前陳ノ通り竣工期五月末日ト定メタルモ天候ニ基ク不可抗力ノ原因アリ加フルニ鉄路公司側ニ於テモ供給スキ材料ノ提供ニ遲延アリタル事情モ有之候間別ニ遲延ニ對

右御参考迄報告申進候也

三九五 六月十六日

在漢口 濱川総領事ヨリ
加藤外務大臣宛

南潯鉄道窮況ニ閔スル大和久書記生報告ノ件

附属書

六月十一日付在九江大和久書記生ヨリ在漢口瀬

川總領事宛機密第三五号信写

同右件

機密第六八号

大正四年六月十六日

在漢口 濱川浅之進(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

大正四年六月十一日附在九江大和久書記生來信写送付

送付先 在支那日置公使

件名

南潯鉄道窮況ニ閔シ報告ノ件

(附属書)

写

機密第三五号

大正四年六月十一日

スル責任ヲ負ハヌシテ引渡ヲ了セラルベシト被存候然シテ鉄路公司ノ財政ヲ查スルニ目下残存ノ金額二十二万円余ニシテ本期我東亞興業会社ニ仕払フヘキ利息二十万円余ヲ差引ク時ハ僅ニ一万円余ノ剩余金ニシテ到底我大倉組ノ受負工事費ヲ仕払フ余裕ナシトノ趣ニテ大倉組モ大ニ困難ヲ感シ居リ候其他鉄路公司ハ毎月公司員ノ俸給營業費其他受負土木工事ニ支出スヘキ経費十數万元ヲ要スヘキニ目下ノ収入トテハ僅ニ月額一万五千元位ノ程度ニテ逆テモ收回償不能ハズサリトテ我東亞興業会社ヨリ統借ノ件ハ中央政府ノ許ササル處ニシテ尚又株主側モ同意セサル趣キニ有之因テ吳總理ハ四月中旬資金調達ノ為上京中ノ處五月二十六日ハ南昌ニ於テ株主總会ヲ開ク手順ニ有之同日ハ吳總理臨席鉄路公司ノ状態報告スヘキ筈ナルニ吳ハ今ニ帰贛スルヲ得ス遂ニ株主總会ハ無期延期トナリタル次第ヨリ察スルモ吳力北京ニテ運動シツツアル借款ノ件ハ余程行惱ミノ事ト被存候若シ果シテ内外ノ借款共ニ不調ニ終ランカ近キ将来ニ於テ南潯鉄路公司ハ事業中止ノ悲境ニ陥リ一方幾多工事受負者側ハ公司ニ工事費ヲ要求シ必ス一大紛擾ヲ惹起スルニ至ルヘシト思考致候

在九江

外務書記生 大和久義郎

在漢口

総領事 濱川浅之進殿

南潯鉄道窮況ニ閔シ報告ノ件

附属書

六月十一日付在九江大和久書記生ヨリ在漢口瀬

川總領事宛機密第三五号信写

同右件

(六月二十三日)

機密第六八号

大正四年六月十六日

在漢口 濱川浅之進(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

大正四年六月十一日附在九江大和久書記生來信写送付

送付先 在支那日置公使

件名

南潯鉄道窮況ニ閔シ報告ノ件

(附属書)

四 南潯鐵道ニ閔スル件 三九五

流用地税ノ附加ト云ヒ何レモ成効ノ見込無之僅カニ一路ノ望ミヲ有スルハ吳總理ノ北京政府ヨリ資金融通ノ一点ニ有之風説ニヨレハ已ニ五十万元丈ハ北京政府ニテ支出ヲ許可セリト伝ヘ居リ候へ共確否速断致難ク候尚又鐵道會社ノ財政紊亂ニ閔シ新聞紙上ニテハ會社内ノ技師長徐之洞建築所長張硯堂ヲ始メ凡テノ鐵道關係者ヲ痛罵シ從テ江西省民ハ南潯線ニ対シ非常ナル悪感ヲ惹起シ今ヤ一人ノ同情者無之過日モ當地稅關監督小官ヲ訪ヒ南潯線ノ内部敗腐ヲ述ヘ南潯線株主役員ハ専ラ南潯線ニヨリ衣食シ今後如何程資金ヲ注込ムモ成効ノ望ナシ之レヲ救済スルハ國有ニスルヨリ外道ナカルヘシト申居リ候同線役員株主側ノ連中ハ事實同線ニ対シ頗ル無責任ニシテ只自党ノ勢力ヲ以テ會社ヲ占領シ私利ヲ貪ラントノ意向歷然タリ從テ内訌紛議絶ヘス候徐技師長ハ輿論ノ沸騰甚シキヲ恐レ五月下旬會社ニ辞表ヲ送リ私ニ上海ニ帰リ今ヤ張建築所長モ亦辭表ヲ呈シ會社ト關係ヲ絶タント声明致居リ候從テ徐張両派ノ技師並ニ下役ノ連中不遠辭職スヘク南潯線ハ益窮状ヲ極メ候事ト被存候目下鉄道會社側ハ財政困難ノ折柄經費節減ノ必要ナルヲ以テ以上重要人物辭職ノ上ハ別ニ後任者ヲ入レス現在ノ役員ヲ以

機密第五九号 (七月二十日接受)

大正四年七月十四日

在上海

總領事 有 吉 明(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

南潯鐵道カ資金更ニ欠乏ヲ告ケ工事ヲ完成スル能ハサル結果一方北京政府ニ補助ノ支給ヲ請願シ他方東亞興業會社台灣銀行三五十万円短期借入方交渉中ナルハ既ニ当該者ヨリ御聞及ノ義ト存候處右ニ閔シ同鐵路公司協理羅兆棟過般來滬ノ砌再三小官ヲ訪問シ同鐵道資金欠乏ノ情況ヲ語リ此際更ニ資金調達ノ必要ナル旨並ニ時節柄東亞興業ヨリ借款ノ形式トスル時ハ地方人民及株主等ヨリ無用ノ批難ヲ蒙ムル

利ト認メラルニ付之カ低減方ニ就キ從來ノ關係上小官ノ幹旋ヲモ願出候本件ハ元ヨリ当事者間ニ於テ適當ニ協議セラルヘキ筋合ニシテ小官ニ於テ云為スル限ニ無之モ卑見ニ依レハ同鐵道資金欠乏ハ東亞興業ノ工事監督不行届モ幾分其因ヲ為シ居ルモノト認メ得ヘク且ツハ從來ノ關係上同社

テ何トカ間ニ合セントノ意向ニ有之候我大倉組ノ架橋工事モ德安、楊柳津両所ノ工事完成シ今ヤ僅ニ山下渡工事ノ一ヲ存シ居候處以上工事ノ工費残十五万円内外ノ支出ハ目下ノ形勢頗ル困難ニ付キ會社側ノ内意ヲ探リ万一工事費支出ノ見込ミ立タサレハ例ヘ受負工事ト云ヘ目前ノ損失ヲ知リツツ契約ヲ履行スルニモ当ラサルニ付断然中止シテ全員引上クヘキ様内訓有之候由熊谷主任技師ヨリ内談有之候鐵道役員側モ何時俸給支払ノ停止セラルヘキヤモ計ラレス内心不安ノ念ニ馳ラレ其日限リノ仕事ヲ以テ責ヲ塞キ居リ候斯クシテ南潯線ノ前途ハ凡テノ方面ヨリ非常ノ悲觀ト危險トヲ以テ注目セラレ居リ候五日南昌發刊大江報ノ記事ニ依レハ本月一日南昌ニ於テ南潯鐵道株主談話会ヲ催サレタル趣ニテ其談話ノ模様掲載有之御参考迄ニ茲ニ訳出致別紙添付致候

右報告申進候也

註 別紙省略

三九六 七月十四日 在上海有吉總領事ヨリ

南潯鐵路公司統借款ニ閔シ意見上申ノ件

ニ於テモ可成便宜ヲ供スルノ義務アリ利子ノ如キモ同鐵路ノ實際ノ狀況ニ鑑ミ誠意ヲ以テ出来得ル限り低利ニ供給スルノ要アルヘク從テ東亞興業カ台灣銀行ニ對シ保証ノ責任ヲ負担スル等ノ理由ノ下ニ両者ノ間ニ立テ利子ノ上前ヲ刎タルカ如キ下心モアラハ甚ダ面白カラサル所ト思惟致候ニ付同借款ノ我政府ト不少關係アルニ顧ミ御差支無之限り適當ノ御勸告ヲ与ヘラレ候様御取計相煩度此段為念申進候

機密第一号 (七月二十七日)
在九江
話報告ノ件
南潯鐵道資金借入ニ閔スル同鐵道羅協理ノ談
敬具
三九七 七月十七日 在九江大和久事務代理ヨリ
加藤外務大臣宛
機密第一号 (七月二十七日接受)

大正四年七月十七日 在九江

領事館事務代理 大和久義郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

南潯鐵道會社協理羅朗山會社資金調達ノ為久シク北京ニ於テ運動中ノ處昨十六日上海ヲ經南昌ヘノ帰途當地ニ立寄ラ

通リ談話有之候
北京政府ニ於テハ南潯線カ第二革命ノ際南北軍衝突ノ為受
ケタル損害約五十万元ハ已ニ認メ居ルモ其賠償ハ困難ナル
趣ニ付キ當方モ強テ要求セサル代リセメテ五十万元位ノ貸
シ出シヲ懇望セル処内心大ニ同情セラレ何トカシテ資金ヲ
調達セシメント苦心セラルモ決極財政困難ノ為融通ノ道
ナクサリトテ断然拒絕スルニモ非ス今暫ラク待タレヨトノ
事ニテ果シテ如何ニ成リ行クヤ計リ難シ尚政府ハ頻リニ株
主側ト相談ノ上更ニ資金ノ調達ヲ計ラルヘキ様勧告アリタ
リ（小官ノ考へニテハ北京政府ハ資金融通ノ件ヲ断然拒絶
セハ会社側ヨリ我東亞興業公司側借款ニ付政府ノ承認ヲ迫
ルヘクスクテハ已ニ七百五十万元ノ借款アリ其上ノ事故多
分嚴重ナル条件ヲ付セラレ遂ニ右鉄道カ事實ニ於テ日本側
ノ権利ニ移ラン事ヲ恐レ居ル為ナラン羅モ暗ニ其意味ヲ諷
示セリ）自分ハ（羅協理）今回上海ニテ台灣銀行支店長江
崎氏ト面商シ五十万元ノ額ヲ同銀行ヨリ当座貸越ノ方法ヲ
以テ借入レントシ江崎支店長モ略同意シ目下本店ニ照会中
ナリ（右ニ付キ當地台灣銀行出張所草刈氏ハ五十万元ノ借

入云々ハ事実ニシテ本店ニテハ年一割ノ利息ヲ要求シ会社側ハ月八厘即チ年九分六厘ヲ主張シ居レルモ多分会社ハ下ノ窮状ニ鑑ミ台銀方ノ主張ヲ容ルナラン尚又会社ニ対シ当座貸越ノ条件トシテ東亞興業会社ト協議ノ上会計顧問及工事監督者ヲ入ルルナランカ会社側ハ略承諾ノ内意アリ（云々）台湾銀行ヨリ当座貸越ノ方法ニテ借入ルル事ハ株主側操縦ノ上ヨリ必要ノ事ニシテ若シ借款ノ形式ヲ取レハ株主側ノ苦情起リ面倒多キカ為ナリ尚江西民国銀行ニ保管セル十二万元ノ愛国捐ニ就テハ在北京江西同鄉人会ヨリ北京政府ニ願出ノ上北京政府ト江西巡按使トノ協議ノ上遂ニ南潯鉄道会社ヘ貸シ出ス事ニ決定セルヲ以テ自分ハ今回南昌ニ赴キ右愛國捐ノ借入レ手続ヲ了スル筈ナルモ多少南昌人ノ反対ヲ受クルナラン

南潯鉄道ハ目下資金全ク欠乏シ窮状其極ニ達シ居ルヲ以テ以上ノ金策ヲ得サル上ハ遂ニ破綻ヲ来スナラン然ルニ株主側ハ会社ニ対シ一種ノ債権者タルノ感アリ会社ノ為善後策ヲ講スルニ非シテ只会社ヲ悲シミ徒ニ反対是事トシ自己ノ利益以外一点ノ誠意ナキハ驚クノ外ナシ云々

右御参考迄ニ及報告候也

写送付先 北京公使

外務大臣男爵 加藤高明殿

三九八 七月二十九日 在九江大和久事務代理ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鐵路公司吳總理浙江省財政廳長二任セラ
レタル件

第六号

南潯鐵道公司總理吳ハ資金借入ノ為久シク北京ニ在リシカ
遂ニ不成効ニ終リ本月二十一日附ヲ以テ突然浙江省財政厅
長ニ任セラレタリ仍テ同公司ニ辞職申出タルニ付重役連ハ
大恐慌ヲ起シ是非一先帰任事務引継アリタシト電報アリタ
ルモ多分帰任セサルヘシト公司前途益困難ニ陥ルヘシ

三九九 八月二日 在九江大和久事務代理ヨリ
加藤外務大臣宛

往信第九号
沙報八件
(八月九日接受)

大正四年八月一日

在九江

領事館事務代理 大和久義郎(印)
四 南海鉄道三閻スル件 三九八 三九九

辞職ハ事頻ル突然ニ出テタルカ如キモ実ハ早クヨリ辞意ヲ抱キ殊ニ今回北京ニテ公司借款運動遂ニ不成功ニ陥リシ結果到底南潯鐵道ノ将来見込ミナキヲ察シ内々猶官運動ヲ初メ其結果浙江財政厅長ノ職ヲ得タルヲ以テ愈々南潯鐵道側ト手ヲ切リシ由ニテ南潯鐵道モ今後益々困難ニ立至ル一方ニ候尙ホ又同公司資金窮乏ノ今日何トカ借款ノ道立タサル以上如何ナル人モ容易ニ總理ノ職ニ就クヲ肯セサル様子ニ被見受候

二候尙ホ又同公司資金窮乏ノ今日何トカ借款ノ道立タサル以上如何ナル人モ容易ニ總理ノ職ニ就クヲ肯セサル様子ニ被見受候

公司ノ借款ハ内外共頻ル困難ノ状態ニテ僅カニ愛國捐（国民捐）十二万元丈ハ過般同公司協理羅朗山カ南昌ニテ民国

銀行ヨリ借入レヲアシタル模様ニ候ヘ共到底斯カル少額ニテハ一時ノ急ヲ救フ能ハス目下同公司各工事受負金モ未払勝チニテ各方面ノ苦情起リ居リ加フルニ建昌以南ハ洪水ノ為山下渡附近ノ橋梁破壊シ土工モ不少破壊シ六月二十二日以来今日約四十日間建昌以南ハ不通トナリ全ク復旧工事ヲ終ル迄ハ更ニ二週間ヲ要スル状態ニ有之目下ノ収入毎日僅ニ百五十元位ノ少額ニ減シ資金ノ窮乏想像以外ニ候然ルニ一方建築所長技師長（前便辞職ノ件ハ全ク解決ニ至ラス）等幹部連何レモ事ニ托シテ公司事務ヲ見ス役員ハ俸給取り

ニ甘シ進テ公司将來ノ經營ニ心ヲ用ユルモノナク只其日限リノ出来事ヲ消極的ニ処決セル情況ニテ日日不良ノ結果ヲ生スルノミニ有之候

右御参考迄ニ及報告候也

写送附先 北京公使

四〇〇 八月四日

在中国日置公使（電報）

南潯鐵道不足資金ハ可成國資ヲ用ユベキ旨袁

第四三九号

南潯鐵道袁總理來京中央政府ニ向ヒテ資金融通方運動ヲ試ミタル次第八五月十四日附機密第一三三号拙信ヲ以テ報告シ置キタル處昨今新聞紙上政府ハ愈々同鐵道ヲ國有ト為スコトニ決シ資金ハ通惠公司（七月十日附公第一五五号）ヲシテ融通セシムル計画ナル趣記載アリタルヲ以テ早速取調タル處吳ノ熱心ナル運動ノ結果大總統ヨリ成ルベク支那ノ資本ヲ用ユベキ旨交通部へ内命アリタル為目下交通中國兩銀行ヨリ約百万弗内外ヲ融通スルコトニ相談略亦纏マリ居ルモ右兩銀行ニ於テハ同鐵道現在ノ債務ニ對シ江西省地方

稅中ヨリ年額約四十万弗ノ利子仕払ヲ保証スル方法出來次第確定スル筈ニテ目下折角工面中ナル由ニテ國有及通惠公司資金融通云々トハ事實ニアラスト云フ尚吳ハ今回浙江省財政厅長ニ任せラレ不日赴任スルニ付今後交通部其他トノ交渉ニ關シテハ李盛鐸趙惟熙（何レモ參政ニテ江西人）両人之ニ當リ又大總統府側トノ交渉ニ關シテハ內史沈兆祉之ニ當ルコトトナリ居ル由

右九江上海ニ転電シ同地方ニ於テモ取調ノ上當方及本省ニ報告方命シタリ

四〇一 八月七日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛

南潯鐵道國有ニ閔シ中國政府ニ警告アリタキ

旨訓令ノ件

政機密送第一三九号

南潯鐵道國有ニ閔スル件

支那政府ニ於テハ南潯鐵道ヲ國有トナスコトニ決定シタル趣ノ報道昨今頻リニ伝ヘラレ居レルガ貴電第四三九号ニヨ

レハ右ハ事實ニアラサルガ如キ趣ナルモ其間如何ナル魂胆ノ潛ミ居ルヤモ難計思考被致候ニ付此際為念支那当局ニ対候

也

写送附先 在上海總領事

在九江事務代理

四〇二 南海鉄道ニ闕スル件 四〇二

三八八

四〇一 八月十八日 在中國日置公使ヨリ
大隈兼任外務大臣宛

通惠公司ヨリ南海鉄路公司ヘ二百万ドル貸与

方協商纏リタル件

機密第二六二号

大正四年八月十八日

在支那

特命全権公使 日 置 益(印)

外務大臣伯爵 大隈重信殿

南海鉄道借款ニ闕スル件

南海鉄道資金欠乏ノ為總理吳錦(号伯琴)來京熱心ナル運動ノ結果大總統ヨリ交通部へ内命ヲ下シ交通中國兩銀行ヨリ約百万弗ヲ融通セシムルコトニ相談略纏リ居ルモ右兩銀行ハ同鐵道現在ノ債務ニ対シ江西省地方稅中ヨリ年額約四十万弗ノ利子仕払ヲ保証スルコトヲ要求シ右方法出来次第確定スヘシトノ趣ハ本月四日往電第四三九号ヲ以テ及報告置候處昨十七日當地ノ漢字新聞中通惠公司^(註)ヨリ南海鉄路公司ヘ二百万弗ヲ貸与之旨ノ記事有之候ニ付早速館員ヲシテ右鐵道ト關係アル李盛鐸ニ就キ其実否問合ハサシメタル處

右御参考迄及報告候也

本信写送付先

九江領事館、上海總領事館

註 通惠公司ニ闕シテハ後掲四一五及四二一文書等参照

四〇三 八月三十日 大隈兼任外務大臣ヨリ
在九江大和久事務代理宛(電報)

南海鉄路公司ニ對シ通惠公司等ヨリ融資ノ風

説二付公司當局ニ質問方訓令ノ件

第六号

南海鉄路公司ニ於テハ通惠公司又ハ其ノ他ヨリ資金融通方ニ付彼是運動ヲ試ミ居リ通惠ノ分二百万両ハ已ニ話合纏レルヤノ風說昨今頻りニ伝ヘラルル處万一千斯ルコトアリテハ明治四十五年七月八日我方ト同公司トノ借款契約第八条統借ノ規定(尚大正三年五月十五日第一統借契約第六条第二統借第七条ヲモ参照)ニ違反スル次第ニテ頗ル面倒ナル事態ニ立至ルヘキコトト可相成虞モ有之ニ付右ハ素ヨリ一場ノ風說ニ過キスト思考セラルモ為念其真相承知シタキ趣貴官ノ思付トシテ公司當局ニ質問セラレ結果電報アリ度シ

四〇四 八月三十一日 在九江大和久事務代理ヨリ
大隈兼任外務大臣宛(電報)

四 南海鉄道ニ闕スル件 四〇三 四〇四

三八九

實ハ中國交通兩銀行ヨリ借款スル事ニ略ホ決定シ居リタルモ其後右兩銀行ノ要求セル利子保証金額四十万弗ニ闕シ江西ニ於ケル關係当事者ニテ極力其調達ニ奔走セシニ拘ラズ相談ハ不成立ニ了レリ是ニ於テ不得已通惠公司ト協商ヲ遂ケタル結果約式百万弗内外南海鉄道ノ増資ヲ行フコトトシ其株ノ募集ヲ通惠公司ニ於テ引受クルコトナリ万一応募額前記ノ金額ニ達セサルトキハ通惠公司ニ於テ必要ノ金額ヲ一時立替フル筈ナリ又本年ハ江西地方水害甚シク南海鉄道モ損害ヲ受ケ修繕其他資金ノ必要モ最初ノ予算ヨリ増加セシナラント察セラルルニ付二百万弗ニ増加シタル次第ナルモ右ハ決シテ一時ニ払込ム訳ニ非ズ必要ニ慮シ漸次所要ノ金額ヲ交付スル筈ナレバ通惠公司ニ於テモ其实行ハ左迄困難ナラサルヘシトノコトニ有之候尚北京ニ於テ目下江西鐵道ヲ代表シ資金折衝ノ任ニ当リ居ルモノハ既報ノ通り李盛鐸、趙維熙ノ二名ニシテ外ニ南海鉄道協理羅朗山兩三日前着京今後專ラ江西方面トノ聯絡ヲ保テ趙李ト協同尽力スル筈ナル由ニ有之候

四〇五 九月一日 大隈兼任外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛（電報）

南潯鐵路公司ニ通惠公司ヨリ融資ノ風説ニ付

取調方及嚴重警告方訓令ノ件

第五一二号

九江ヨリ転電スヘキ本省宛同地發電第一〇号ニ開シ通惠公司ニ於テ南潯鐵道ニ資金支出方ニ付張委員談話ノ次第ハ果シテ事實ナルヤ又右資金ハ英國筋ヨリ通惠公司ニ融通シタルヤノ聞込モアル處是亦事實ナルヤ至急御取調相成度シ若シ支那側ニ於テ我ニ協議スルコトナクスル措置ヲ為サントスルコト事實ナルニ於テハ仮令其ノ資金金融通カ株券ノ引受ニヨルモノナリトスルモ右ハ單ニ形式ノ問題ニシテ實質ニ於テ何等借款ト選フ所ナキヲ以テ統借ニ開スル我優先權ノ趣旨ニ戾ルハ勿論ナルノミナラズ同鐵路公司ニ對シ我方ヨリ殆ト資金ノ全部ヲ融通セル從來ノ特殊ナル關係ヲ無視シタル極メテ不誠実ノ行為ニシテ我債權者ニ於テ甚タシク不安ノ念ヲ感セサルヲ得ス殊ニ其ノ資金カ外國筋ヨリ出ヅルガ如キコトアルニ於テハ益々事態ヲ複雜ナラシムルモノナルニ付目下貴地ニ在ル羅協理ニ對シ支那側ニ於テ予メ我

逕啓者敝會社對

貴公司已有鉅大債權對此債權應得之第一保障以完成鐵路爲要義是故前值由

貴公司承懇商續借資金敝會社正擬誠意設法接濟詎料

貴公司求暫緩商議本端

貴公司照借款合同第八條之規定斷不出于不與敝會社經協議而求資金於敝會社以外之資本團之舉而必有另籌善後良策矣頃聞

貴公司由通惠公司新得巨款貳百萬元未接正式通報是否事實速請

示知又聞敝會社所最表敬意之

貴總理吳君業已轉職於他此事亦未接正式具報如果事實則關於

貴公司之將來不得不懷一層疑念現情既如是敝會社爲保全債權起見決不能默過即詢前項各事實在情形如何并將將來之計畫詳細覆答不勝盼禱之至昨已經將此意電達因事體重大再此
禱告此致

南潯鐵路公司

總理吳伯琴先生

方ニ協議スルコトナクシテ斯ル措置ヲ決行スルニ於テハ容易ナラサル事態ニ立至ルヘキ旨嚴重警告ヲ与ヘラレ結果電報アリタシ尚本件ニツキテハ東亞ヨリモ直接鐵路公司ニ警告ヲ与フル筈ナリ

四〇六 九月四日 東亞興業株式會社ヨリ

南潯鐵路公司ニ對シ同公司資金調達ニ付質問

書発送ノ件

附属書

九月三日付古市東亞興業會社社長ヨリ南潯鐵路

總協理及董事宛書翰写

同右件

大正四年九月四日

外務省

小池政務局長殿

拝啓昨三日南潯鐵路公司へ對シ發送致候質問書面写別紙ノ通リ為御参考供貴覽候 敬具

（附屬書）

写

東亞興業株式會社

協理羅朗山先生
董事諸位均鑒

東亞興業株式會社

社長 古市公威啓

（右和訳文）

南潯鐵路公司總協理董事宛書面

當會社ハ貴公司ニ對シテ寡カラサル債權ヲ有ス此債權ニ對シ保障ヲ得ベキ第一着ノ要義ハ鐵道ノ竣工ニ在リ故ニ過般貴公司ヨリ資金統借ノ懇請ヲ受ケタルニ際シテハ當會社ハ誠意資金通ノ途ヲ講シタルニ測ラサリキ貴公司ヨリ暫ク商議見合セノ請求アリ貴公司ハ借款契約第八条ノ規定ニ照シ當會社ト協議ヲ經シテ當會社以外ノ資本團ニ對シ資金ヲ求ムルノ擧ニ断シテ出テス別ニ善後ノ良策ヲ有スルモノト思惟シタルニ頃ロ聞ク所ニ拠レバ貴公司ハ通惠公司ヨリ新ニ資金貳百萬元ヲ得タリト未タ正式ノ通報ニ接セス実否如何速ニ回答セラレタク又當會社力最敬意ヲ表スル所ノ總理吳君ハ已ニ他ニ転職セラレタリト聞ク此モ未タ正式ノ報知ニ接セサルモ果シテ事實トスレハ貴公司ノ将来ニ就テ一層ノ疑惑ヲ懷カサルヲ得ス事情既ニ是ノ如クナレハ當會社

ハ債権保全ノ必要上黙過スル能ハサルニ依リ茲ニ質問ス前項各事実在ノ事情如何並ヒニ将来ノ計画ニ対シ詳細覆答アランコトヲ拝禱ノ至リニ勝ヘス昨日此意電信シタルモ事体重大ナルニ因リ再ヒ此ニ書中ヲ以テ通告ス

大正四年九月三日

東亜興業株式会社

社長 古市公威

南潯鉄路公司

総協理及董事宛

四〇七 九月四日 在中国小幡臨時代理公使ヨリ
大隈兼任外務大臣宛(電報)

通恵公司引受ノ二百五十万弗ニ閑シ羅南潯鉄

路協理及李盛鐸ニ問合及警告ニ付報告ノ件

第四九五号

貴電第五一二号早速羅朗山及本件ト密接ノ關係ヲ有スル李盛鐸ノ兩人ニ就キ問合セタル処同人等ノ言フ所ニ依レバ這回通恵公司ニ於テ引受ケタル二百五十万弗ハ南潯鉄路公司ノ增资額ニシテ其募集ヲ引受ケタルニ過キス決シテ借款ニアラス尤モ當面ノ急ニ応スル為約五十万弗許二ヶ月ノ期限

亞ノ意見一応承知シ置キタシ

九江へ転電シタリ

四〇八 九月六日 小池政務局長ヨリ

古市東亜興業会社々長宛

通恵公司ノ南潯鉄路公司ヘノ融資問題ニ閑シ

意見問合ノ件

機密扱

拝啓陳者南潯鉄路公司ニ於テ資金借入方ニ閑スル件ニ付在九江大和久事務代理來電要領ハ九月一日付書面ヲ以テ及御内報置候處其後本件ニ付大要別紙甲号写ノ通り在支小幡代理公使ニ電訓ニ及ヒタルニ大要別紙乙号写ノ通り回電有之候間御内覽ノ上何分ノ御意見御回示相煩度此段得貴意候

敬具

註 別紙甲号及乙号省略ス甲号及乙号ハ夫々四〇五文書及四〇七文書ノ「バラフレーズ」ナリ

四〇九 九月九日 古市東亜興業会社社長ヨリ

通恵公司ヨリ南潯鉄路公司ヘノ融資計画ニ閑

シ意見回申ノ件

四 南海鉄道ニ閑スル件 四〇八 四〇九

ニテ通恵公司ヨリ一時立換ユルコトニ相談略ホ纏マリタルモ利子ノ点ニ付未タ確定スルニ至ラストノコトナリシ故御電訓ノ趣旨ニ依リ嚴重戒告ヲ与ヘタル處先方ニテハ借款ト増資トハ其形式實質トモニ全然相違シ從テ東亜トノ借款契約ト何等抵触スル処ナキハ勿論外国筋ヨリ出資アラサルヤノ御懸念アルモ断シテ然ルコトナシト弁明セリ通恵公司ノ増資引受ニ閑シテハ當方警告ノ理由較々薄弱ナルヤノ嫌之アリ此上強ク圧迫ヲ加フルモ其ノ計画ヲ中止セシムル見込キヤト考ヘラルニ付今後外資ノ進入等之ナキ限り暫ク傍観ノ態度ニ出ツル外之ナキカト存セラル但シ五拾万弗ノ一時立替ニ閑シテハ明ラカニ東亜トノ借款契約ニ抵触スルモノナルヲ以テ更ニ羅ニ向ヒテ警告ヲ与フル筈ナルモ同時ニ東亜側ヨリモ直接同様ノ措置ヲ採ル様致度ク但シ之トテ我資本家ニ於テ通恵公司ヨリモ鉄路公司ニ對シ其ノ満足スル条件ニテ出資スル覺悟ナクシテ徒ニ抗議ヲ提出スルハ恰モ鉄路公司事業ノ進行ヲ妨クルカ如キ結果トナリ自然江西方面ニ我投資ヲ歓迎セサルニ至ルヘキ虞アリ此辺ニ對スル東

四 南潯鐵道ニ閔スル件 四一〇 四一

三九四

ハ疑ナキ能ハサル所ナルヲ以テ或ハ他日間接借款ノ形式ニ
テ外資ヲ輸入スルコトナキヲ保シ難ク是レ最モ反対スヘキ
事項ニシテ予メ十分ニ警戒ヲ要スル儀ト存候
右及答申候也 敬具

大正四年九月九日

東亞興業株式会社

社長 古市公威(花押)

(欄外註記)

「大正四年九月九日古市氏持參」

註 別紙省略

者間ニ略話合纏リタル趣ニテ右ニシテ果シテ事實ナルニ於
テハ增资引受トハ云ヘ其実間接借款ニシテ從テ東亞興業会
社トノ契約ニ違反スル義ニ付我方ノ取ルヘキ措置方ニ閔シ
目下攻究中ナルカ通惠公司ニ於テハ右ニ要スル資金ヲ英國
筋ヨリ融通ヲ受クルニアラサルヤノ疑モアルニ付右外國閔
係ノ義ハ果シテ事實ナリヤ吳端伯等ヲシテ其辺ノ消息成ル
ヘク詳細ニ探ラシメラレ結果電報アリタシ

参考ノ為北京ニ転電アレ

四一一 九月十五日 在上海有吉總領事宛(電報)

通惠公司ノ南潯鐵路公司ヘノ融資ニ閔シ報告

ノ件

第九二号

貴電第一〇八号ニ閔シ本月初前總理吳鈞通滙ノ節吳端伯ヘ
ノ内話ニ依レハ中國交通兩銀行借款ハ公司ノ私設ナルニ顧
ミ半官ノ銀行ヨリノ融通ハ面白カラストノ理由ニヨリ見合
セトナリ通惠公司ニテ新株ヲ引受クルコトニ変更セラレ
新旧株主ヨリ吉長鐵道局長虞愚ヲ總理トスル筈ニシテ日本
國ヨリノ借款ト違ヒ会社ノ実權ヲ新株主側ニ奪ハルルコト

ハ甚タ遺憾ナリトセル由ニテ當時吳端伯ヲシテ資金ノ出所
ヲ確カメシメタルカ支那人ノ資金ナリト述ヘ内情ヲ語ラス
依リテ不日來滙ノ筈ナル右跡形付ノタメ滙京中ノ羅朗山ヲ
待テ尚突止メン考ナリシモ今ニ北京ニ在リ勿論鄒忽会副会
長ヨリモ招電ヲ發スル由ニ付若シ來ラハ篤ト詮索スヘシ目
下ノ處右鄰及陳三立等ハ單ニ中央政府ヨリ融通サルルモノ
ト考ヘ居リ事實内情ヲ詳ニシ居ラサルモノノ如シ尚東亞興
業カ工事監督ヲ怠リ続借申込ニハ利子ノ駆引ヲ先ニシ必要
ナル時機ニ責任アル代表者ヲモ置カヌ事アレバ則チ狼狽ス
ルカ如キハ甚タ面白カラス此ノ機會ニ篤ト御説示置キ必要
ト考フ

ト考フ
公使ヘ転達シタリ

四一二 九月十八日 在上海有吉總領事ヨリ
大隈兼任外務大臣宛(電報)

通惠公司ヨリ南潯鐵路公司ヘ融資ニ閔スル件

第九三号

小池政務局長殿

外務省

公使ヘ転電済ミ

貴電第一〇八号ニ閔シ南昌ヨリ吳端伯ヘノ内報ニ依レハ新
總理虞愚ハ既ニ同地ニ著新株モ決定シ新株主ハ過去ニ對
江來電ニ對シ本日別紙写ノ通發電致候間御聽置被下度此段

東亞興業株式会社

南潯鐵路公司ノ資金調達ニ閔シ同公司總協理

二質問ノ旨報告ノ件

附屬書 同日付東亞興業会社ヨリ在九江同社代理人宛電
右件ニ付南潯鐵路公司總協理ニ質問方電訓ノ件

大正四年九月十八日

東亞興業株式会社

外務省

小池政務局長殿

公使ヘ転電済ミ

公使ヘ転電済ミ

貴電第一〇八号ニ閔シ南昌ヨリ吳端伯ヘノ内報ニ依レハ新
總理虞愚ハ既ニ同地ニ著新株モ決定シ新株主ハ過去ニ對
江來電ニ對シ本日別紙写ノ通發電致候間御聽置被下度此段

四 南潯鐵道ニ閔スル件 四一二 四一三

三九五

(附属書)

別紙写

大正四年九月十八日

東亞興業株式会社

九江

代理人宛

鉄路公司ニ伝ヘヨ

貴電ニヨレハ通恵公司ノ五拾万弗ハ矢張短期借款ニアラス

ヤ當方ハ貴公司ノ懇請ニヨリ五拾万円ヲ準備シアルニ拘ラ

ス何故當方へ借入レノ相談ヲナサナルカ至急電報ニテ詳細

答復ヲ望ムト總協理ニ転電セヨ

四一四 九月二十五日 東亞興業株式会社ヨリ

通恵公司ヨリ資金借入問題ニ閔シ東亞興業及

附属書一

九月二十四日附在九江東亞興業代理人發同本

社宛電報写 通恵公司借入問題ニ閔シ南潯鐵

路公司ヨリ回答ノ件

二 九月二十五日附東亞興業發在九江同代理人宛

電報写 東亞興業ヨリノ借入謝絶シタル事由

別紙乙写

大正四年九月二十五日発電

東亞興業株式会社

九江

代理人宛

鉄路公司ニ伝ヘヨ、當方ヨリ借入レノコトハ既ニ謝絶シタ
リト云フモ之ハ問題ニアラス當方ノ問フ所ハ何故ニ當方ヲ
措キテ他ヨリ借入レヲ為スカニ在リ明ニ回答セヨト總協理
ニ転電ヲ望ム四一五 九月三十日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ
大隈兼任外務大臣宛

通恵公司ノ營業開始ニ閔シ報告ノ件

公第二二三号

(十月八日接受)

大正四年九月三十日

在支那

臨時代理公使 小幡 西 吉(印)

外務大臣伯爵 大隈重信殿

通恵公司營業開始ニ閔スル件

通恵公司組織ノ内容等ニ閔シテハ兩次報告ノ次第モ有之候

四 南潯鐵道ニ閔スル件 四一五 四一六

南潯鐵道公司へ問合方ノ件

大正四年九月二十五日

東亞興業株式会社

外務省政務局長殿

押啓江西南潯鐵道公司對通恵公司ノ件ニ閔シ去ル十八日當
方發電ニ付シ昨二十四日別紙甲写ノ通り羅朗山ヨリノ返電

ニ接シ候ニ付当会社ハ猶未質問ノ為メ別紙乙写ノ通り發電

致候間此段御聽置被成下度候 敬具

(附属書一)

別紙甲写

大正四年九月二十四日來電

九江

東亞興業株式会社宛

北京羅朗山來電其儘電ス

江西南潯鐵道通恵公司ニ頼ミニ新株募集スルノミニテ新株券

未タ手渡セサル前ニ江西鐵路急用アルニ付先ツ一ヶ月立替

ノ相談中ナリ東亞ノ借款ノ件ハ前既ニ上海ニテ自分自身東

亞代表者ニ面会シ之ヲ謝絶シ置キタリ

(附属書二)

大正四年十月一日

外務省

小池政務局長殿

東亞興業株式会社

拝啓通恵公司対南潯鐵道公司ノ件ニ付九江代理人ヨリ別紙写ノ通り情報ニ接シ候間不取敢供貴覽候 敬具
(附屬書)

大正四年九月二十一日

南潯鐵道ニ閑スル件

拝啓八日付別紙第一号貴電ニ対シ別紙第二号ノ通り御架電申上置候處右ニ対シ十八日付別紙第三号御架電ニ接シ早速北京總理協理ニ転電致置候間返電有之次第電報可申上候聞ク所ニヨレハ通恵公司ハ未タ新株式ヲ募集シ居ルニモアラズ從テ五十万元ハ表面名義ハ兎モ角實際ハ通恵公司ヨリノ一時貸出金ト被存候

尤モ右ハ過般來北京ヨリ当地ニ出張シ鐵路現状取調タル虞氏調査材料ヲ基トシ通恵公司ヨリ鐵路ニ諸条件ヲ提出シ

ヘシト被思申候

又通恵公司ハ御承知ノ通り未タ實際株式募集シ居ラス仮令鉄路ニ代リ一般ヨリ株式募集ヲナストスルモ鐵路ノ現状ニテハ応募者有之ルヘシトモ思ハレス結局通恵公司資金ノ出所ニ疑問アリ鐵路公司張氏ノ談片ヲ想像スレハ或ハ裏面ニハ英國資本家即チ寧湘鐵道資金ニ關係ハ無之哉トモ疑ハレ候即チ寧湘鐵道資金ヲ交通部ニ受入レ交通部ヨリ交通銀行ニ預ケ入レ交通銀行ハ英國資本家ノ承諾ヲ得之ヲ通恵公司ニ融通シ何等カノ密約ノ裏ニ之ヲ南潯鐵道ニ放資セントスルヤノ風説モ耳ニ致シ候ニ付只為念申添候

尙ホ南昌広東線ハ張家口鐵路技師陳西林過日測量ヲ終ヘシ様子ニテ此費用ハ英國側ヨリ出セシト及聞居リ又南昌汕頭線モ前南潯鐵路技師長徐之洞過日之レ又測量ヲ終ヘシ様子ニシテ之レハ交通部ノ關係ノ由ナルモ裏面ノ消息ハ判明不致為念申上候

右得貴意候也

註 別紙第三号ハ省略ス九月十八日東亞興業株式会社ヨリ小池政務局長宛書信附屬書ト同文ナリ(前掲四一三文書)

之ヲ鐵路公司承諾シタル上ナラデハ現金ノ授受ヲ見ルコトハ難カル可ク被存候

而シテ虞氏調査ノ結果ハ大体良好ナリシ様ナルモ密力ニ鐵路公司張氏ヨリ探聞スル所ニヨレハ虞ハ同公司ノ現状ニテハ今日迄消費シタル東亞借入金七百五拾万円並ニ資本金二百五拾萬元ハ過大ニ失ストノ意見ニテ車輛材料代工事費ハ之ヲ五百万元ト見積リ東亞ヘノ利息並ニ鐵路諸経費支出額モ三百五拾萬元ノミ是認シ結果鐵路公司ノ今日迄支出シタル約千百五拾萬元ノ内八百五十万元支ケ承認シ残額ハ之ヲ承認セズトノ説ヲナシタル由ニテ北京ニテ通恵公司ハ如何ナル条件ヲ鐵路ニ提出シ二百余元ノ融通ヲ与フルヤハ不明ナルモ通恵公司何等カノ形式ニヨリ鐵路ノ実權ヲ握リ同公司ヲ經營スルモノトセハ通惠、東亞、鐵路三者ノ關係ハ愈々出テテ複雜トナリ今後種々紛乱ヲ來スヘシト觀察セラレ申候而シテ通恵公司資金ヲ融通スル以上ハ總理ハ予テ得貴意置候通り通恵公司側ヨリ選出サルルハ勿論羅朗山ノ如キモ今日迄ノ如ク同公司ノ会計ヲ自由ニスルコトハ全ク不可能トナリ同人ハ協理ヲ辞スルカ又ハ只單ニ董事トシテ名義ノミヲ存シ実權ハ通恵公司側協理ノ手ニ移サルルニ至ル

第一号写

大正四年九月八日

東亞興業株式会社発九江代理人宛

左ノ通り鐵路公司ニ伝ヘヨ

聞ク所ニヨレハ公司ハ差当リ通恵公司ヨリ五拾万弗ヲ受入ルルト云フ右ハ如何ナル性質ノ金ナルヤ總理協理ニ転電シ説明ヲ求メ電信セヨ

(二)

第二号写

大正四年九月十六日

九江代理人発東亞興業株式会社宛

北京羅朗山返電其儘電ス

通恵公司鐵路ニ代リ募集ノ新株二百万余ハ未タ集マラサルニ付先ツ通恵公司ヨリ五拾万弗ヲ立替ヘ一ヶ月ヲ期限トシテ募集金ヨリ之ヲ差引クモノナリ
虞ハ調査ヲ了シ昨夜北京へ向ケ出發セリ同人調査ノ結果大体良好ナリシ様子ニテ羅ハ同人北京着ノ上五十万ヲ受取り不日帰潯スル様子為念通知スル

(別紙) (一)

四 南潯鐵道二閔スル件 四一七 四一八

四〇〇

四一七 十月二日 東亞興業株式会社ヨリ

小池政務局長宛

通惠公司ヨリ資金借入不要並同鐵路吳總理他

二転任ノ旨南潯鐵路公司ヨリ通知アリタル件
附屬書 右三閔スル南潯鐵路公司ヨリ古市東亞興業社長
宛書翰写

大正四年十月二日

東亞興業株式会社

外務省

小池政務局長殿

拝啓通惠公司ヨリ資金ノ融通ヲ求メントスルノ件並ニ總理
吳鈎氏他ニ就任ノ由ナルニ貴公司ヨリハ何等正式ノ通告ナ
キヲ遺憾トスル旨先般南潯鐵路公司ヘ申送リ候處數日前別

紙写ノ通リ回答ニ接シ候間為御参考供貴覽候 敬具
(附屬書)

写

江西南潯鐵路公司來信写

逕覆者

臺函敬悉現在本公司各股東甚爲踊躍勿庸借款請勿聽信浮言
以致誤會至於吳總理已赴浙江財政廳長之任本公司自應准其

離職無須正式公函報告
尊處專此答覆統希

古市先生臺鑑

南潯鐵路總公司謹啓

(右和訳文)

拝復目下本公司ノ各株主間ニ活氣ヲ呈シ來リ候為メ今ヤ借
款ノ要無之候道途ノ浮言ヲ信ジテ誤解ナキ様願上候吳總理
ハ既ニ浙江財政廳長ニ就任致シ候右ハ正式ノ文書ヲ用キズ
シテ御通知ニ及ヒ候條御了知相成度此段及御回答候 敬具

古市社長殿

南潯鐵路公司發信

四一八 十月四日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ
大隈兼任外務大臣宛(電報)

南潯鐵路資金問題ニ閔スル李盛鐸談報告ノ件

第五三八号

曩ニ南潯鐵道增资ニ閔シ當面ノ急ニ応スル為通惠公司ヨリ
約五十万弗ヲ一時立替ルコトトナリ利子其ノ他ノ条件ニ閔
シ協議中ナル旨往電第四九五号ヲ以テ報告シ置キタル所十
月二日李盛鐸カ船津ニ語ル所ニ依レハ其ノ後通惠ノ要求過

大正四年十月九日

東亞興業株式会社

外務省

小池政務局長殿

拝啓去ル二日上海へ到着致候弊社嘱託員橋三郎ヨリ別紙写
ノ通リ報道ニ接シ候間為御参考供貴覽候 敬具

尙ホ橋三郎並ニ去月三十日神戸出帆八幡丸ニテ出發致候
弊社技師坂田九郎モ既ニ九江へ到着セシ筈ニ候是亦御聴
置被下度候

(附屬書)

別紙写

東亞興業会社

古市公威殿

拝啓時下秋冷御盛昌奉賀候小生滬京中ハ不一方御配慮相成

奉謝候去月十日東京出立大阪門司ニ立寄リ郷里ニテ亡父仏事ヲ終リ三十日ノ船ニテ渡航本月二日当地着仕候

江西鐵道對通惠公司

着申ト同時ニ先ツ有吉總額事ヲ訪ヒ夫ヨリ台灣銀行ニ至リ

三井洋行吳端伯、趙、林(是ハ通惠關係ノ人ニテ将来ハ協

報ノ件

附屬書 十月五日附東亞興業嘱託員橋三郎ヨリ古市社長

宛報告書写

四一九 十月九日 東亞興業株式会社ヨリ
小池政務局長宛

南潯鐵道問題ニ閔スル東亞興業嘱託員情報転

四一九 南潯鐵道ニ閔スル件 四一九

四〇一

四 南潯鐵道ニ開スル件 四一九

理兼技師長ニデモナロウカト云フ人)ヲ尋ネ種々質問訪探

仕候得共羅朗山在京中ニテ詳シキ事ハ分明セス大要ノ談ハ左ノ通り

一、通惠公司

道員交渉使商務總会等總掛リニテ株式募集其応募株全体ニテ百七十万元アリ愈成立ノ許可ヲ得タリト但シ此応募株ノ大部分ハ未払込ナルコトト御承知アリタシ

其幹部ハ袁克定ヲ筆頭トシ周學熙、楊士琦、孫多森、施肇曾、李士偉等ニテ所謂唐山組(石炭セメント)周ノ一派ト中日重役組ニテ施ハ現海蘭鐵道總弁也

一、対江西鐵道資金

之ハ新株ヲ引受ト云フ名義ナルハ事實ニテ条件トシテハ旧株主及旧董事ハ一切江西鐵道ノ将来ニツキ容啄ヲ許サストノ默諾アリ幹部全體技師等モ更迭スル筈トノ事愈現款交付ノ曉ニハ必ス事實トナルベシ但シ通惠ヨリ派出ノ江西鐵道調査員ノ調査未タ發表サレサレハ現金交付マテハ至ラス右ノ次第ナレハ我社ニ取リテハ由々シキ事件ニ候只羅力北京ヨリ帰ラサルハ結局未タ現金收受セサルニツキ帰ル訳ニ行カス已ニ九江南昌ニテ工賃其他不払ノ分多ク且ツ局内部

キテ

一、台灣銀行當座貸越尻シテカ又ハ

二、機械材料ハ三井ヨリ延売トシ工事万端ヲ大倉ヨリ延

払トシ三井大倉ニ対シテ東亜ヨリ保証スルカノ

二法ヲ以テ何レニテモ我社ノ金ヲ使用サセタル上ニテ通惠トノ關係ヲ自然消滅ニ帰セシムル方法ヲ講シタ方カ最モ適

当ト存候御一考被下度小生ハ六日ノ船ニテ江西三行キ兎毛角現状ヲ見タ上羅ノ北京ノ容子ヲ聞合都合ニ由リテ北京マ

テ行テ見ヨウカト存候之ハ一己ノ考ニテ若シ御同感ニモ有之候得バ本社ヨリハ本社ノ信任セラル御人派遣相成度候

右不敢御報告申上候 以上
十月五日

上海ニテ
橋 三 郎

四二〇 十月十二日 東亜興業株式会社ヨリ
小池政務局長宛

南潯鐵道總理内定ノ模様等在九江代理人ヨリ

電報ノ件

附屬書 十月十一日在九江東亜興業代理人發本社宛電報

写 同右件

四 南潯鐵道ニ開スル件 四二〇 四二一

四〇二

員給料等モ渡シ得ス夫レヤ是レヤニテ徐技師長課長等モ已ニ公司ヲ辞シ去リ局員全体閉口シ居ルトノ事羅ガ金ナシニ帰レザル理由ト談居候併シ通惠公司其者ノ實際成立シテ如

此活動ヲ為シ得ルヤニツキテハ小生ハ疑ヲ有シ居候交通銀行中國銀行ノ知人ニツキ通惠ニ對スル資金貸与ノ内約如何ト聞キ糺シ見候処例ノ救國資金其他ニテ五百万元内外ノ資

金ハ両銀行ニ保管シ居ルモ其他ニ政府ノ指令ナキ以上百万二百万ノ遊金ハナシト申居候未タ両銀行トノ談ハキマリ居ラヌ様思ハレ候

外國銀行方ハ如何ナル狀態ニ在ルヤ不明ナカラ今日ノ英國資本家ニテハ到底其力ナカルベシト其道ノ人ハ申居候只一寸考へ置クベキ事ハ何處ヨリ產出シタル金カ知ラネトモ中國交通塩業銀行ノ三處ニ分チテ約四百万元許ノ資金アリトノ事秘密ニ調查セル者有之候是ハ例ノ籌安会ノ主旨實行ノ非常準備ナルベシトノ臆測ニテ通惠ハ之ヲネラヒ居ルトノ穿チタル説有之候御参考マテ申上候

結局小生ノ愚見ニテハ五十万ニセヨ百万ニセヨ現金收受ハ一寸困難ナルヘク羅ハ之ニツラレテ勿々北京ヲ立退クコトハ出来マシク左スレハ至急我社ヨリ人ヲ北京ニ派シ羅ヲ説ハ

大正四年十月十二日

東亜興業株式会社

外務省

小池政務局長殿

拜啓江西南潯鐵路公司ノ件ニ付九江代理人ヨリ別紙写ノ通

リ電信ニ接シ候間不取敢供貴覽候 敬具

(附屬書)

別紙写

大正四年十月十一日

九江
代理人

東亜興業株式会社宛
江西南潯鐵路總理ニ虞内定ノ模様、十月二十五日株主總会ニテ決定ノ筈

通惠トノ交渉ハ虞總理トナリタル上何トカ決定ノ様子羅ハ其内辭職ノ風評アリ為念通知スル

四二一 十月十二日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ
大隈兼任外務大臣宛

通惠公司ノ營業開始ニ關シ統報ノ件

附記一 通惠公司仮規則
四〇三

二 通惠公司役員氏名表

公第二三一号 (十月十八日接受)

大正四年十月十二日

在支那

外務大臣伯爵 大隈重信殿

通惠公司營業開始ニ關スル件統報

通惠公司營業開始ニ關シテハ九月三十日附公信第二三三号

ヲ以テ及報告置候處該試弁章程^(註)三十一ヶ条其他役員人名等別紙ノ通查知入手致候間迭次ノ報告ト參照御詳悉相成度此段申進候也

註 通惠公司仮規則ノ原文ヲ省略シ外務本省主督課ニ於テ作成シタル右原文ノ和訳文ヲ附記トシテ左ニ掲載ス

(附記一)

通惠公司仮規則

第一章 總則

第一条 本公司ハ通惠美業株式有限公司ト称ス

第二条 本公司ハ本店ヲ北京ニ設ケ先ツ漢口上海ニ支店ヲ設ケ其他ノ各地ハ順次ニ設置スヘシ

第三条 本公司ノ營業種類ハ左ノ如シ

一、各種農工商実業ノ振興

第四条 本公司ノ資本總額ハ銀貨五百万元トシ払込額カ四分ノ一以上ニ達スレハ直チニ開業スヘシ
第五条 営業年限ハ本店開業ノ日ヨリ満三十箇年トシ期限満チタル時ハ株主総会ノ議決ニヨリテ延期ヲ請願スルコトヲ得

第六条 本公司ノ廣告事項ハ北京ノ政府公報ニ掲載シ並ニ通商大市場ノ新聞ニ掲載シテ公布スヘシ

第七条 本公司ノ株式ハ每株銀貨一百元トシ合計五万株トナシ株券ハ記名式トシ一株十株百株ノ三種ニ分ツ

第四章 董事、監察員

第十五条 本公司ニ董事十三人監察員（監査役）五人ヲ置キ株主ニ於テ之ヲ選挙ス董事ハ二百株以上ヲ所有スル株主ヲ以テ當選トシ監察員ハ一百株以上ヲ所有スル株主ヲ以テ當選トス

但シ優先株ノ董事ハ董事ノ過半数ヲ有スヘシ

第十六条 董事ノ任期ハ三箇年トシ監察員ノ任期ハ一箇年トシ何レモ再任スルコトヲ得但シ会社ノ成立後第一期ノ

任期滿チタル董事ハ其半數ヲ改選ス董事ハ各種株券每人二百株ヲ差出シ監察員二人以上立會署名シテ会社ニ預入ルヘシ若シ期限十五日ヲ過ギテ株券ヲ預入レサレハ被選次点者ヲ以テ遞補スヘシ

第十七条 董事会ハ公司ノ各種規則ヲ議定シ及重要ナル業務ヲ討論スルノ責任ヲ有ス

第十八条 董事会ハ總裁ヲ以テ會長トシ副總裁ヲ副會長トス總經理モ亦會議ニ參預スルコトヲ得但シ議決權ヲ有セス

第十九条 董事会ハ会社ノ重要事務ヲ諮詢スルカ為メニ諮詢員及顧問員ヲ推薦スルコトヲ得定員ナシ但シ特別ノ理由

以上ヲ推薦シテ總裁之ヲ委任ス

ス

第十四条 本公司ニ会計主任一名ヲ置キ董事會ニ於テ二人

四 南海鉄道ニ關スル件 四二一

二、各種農工商ノ計画經理又ハ代理
三、各種金融ノ調節事業
四、各種債券ノ募集取扱又ハ募集引受

前項ノ各種債券ノ募集取扱ハ委託ニ依テ募集取扱ヲナシ自ラ債券ニ対スル完全ナル責任ヲ負ハサルヘシ
本公司ハ紹介ノ地位ニ立チ並ニ募集取扱ノ委託者ニ向テ相当ナル保証ノ提供ヲ求ムルコトヲ得

前項各種事業ノ經營ニ付テ主管部又ハ地方官庁ノ認可ヲ經ヘキ者ハ隨時請願スヘシ

第四条 本公司ノ資本總額ハ銀貨五百万元トシ払込額カ四分ノ一以上ニ達スレハ直チニ開業スヘシ

第五条 営業年限ハ本店開業ノ日ヨリ満三十箇年トシ期限満チタル時ハ株主総会ノ議決ニヨリテ延期ヲ請願スルコトヲ得

第六条 本公司ノ廣告事項ハ北京ノ政府公報ニ掲載シ並ニ通商大市場ノ新聞ニ掲載シテ公布スヘシ

第二章 株式

第七条 本公司ノ株式ハ每株銀貨一百元トシ合計五万株トナシ株券ハ記名式トシ一株十株百株ノ三種ニ分ツ

ス

第八条 本公司ノ株式募集ハ發起人之ヲ担当シ先ツ六箇月内ニ一百五十万円ヲ払込マシメ株主名簿ヲ製シテ部ニ報告スヘシ

前項ノ先ニ払込ミタル一百五十万元ヲ優先株トナス

第九条 本公司株券權利ノ移転規則ハ別ニ之ヲ定ム

毎期株主總会前三十日間ハ本公司ニテ株券ノ書換ヲナサス

第三章 職員

第十一条 本公司ニ總裁一人副總裁一人ヲ置キ董事（理事）ヨリ之ヲ推選シ財政農商兩部ニ届出テ兩部連合シテ大總統ノ裁可ヲ申請スヘシ

第十二条 本公司ニ總經理（總支配人）一人ヲ置キ董事ヨリ株主ニ於テ二人以上ヲ推選シテ總裁ニ其選任ヲ請ヒ

農商部ニ上申スヘシ任期ヲ五箇年トシ再任スルコトヲ得

第十三条 本支店ノ經理人等ハ總裁ヨリ之ヲ委任ス

第十四条 本公司ハ總經理ヲシテ業務ヲ總理セシメ經理ヲシテ業務ヲ執行セシム

第十五条 本公司ニ会計主任一名ヲ置キ董事會ニ於テ二人

四 南海鉄道ニ關スル件 四二一

以上ヲ推薦シテ總裁之ヲ委任ス

ス

四〇五

四 南海鉄道三閥スル件 四二一

由アルニ非ザレバ俸給ヲ与フルコトヲ得ズ

第五章 株主総会

第二十条 本会社株主會議ハ通常会特別会ノ二種ニ分ツ

第二十一条 通常会ハ毎年四月間ニ於テ董事會ヨリ之ヲ召集シ本店ニ於テ開会ス

第二十二条 特別会ハ重要事件アル場合ニ總裁ト董事會ト議決ノ上之ヲ召集シ或ハ株主七名以上ニテ株金總額ノ十分ノ一以上ヲ所有スル者ヨリ提議ノ事項ヲ申出ヅルトキハ亦總裁ニ請求シテ之ヲ召集スルコトヲ得

第二十三条 株主會ハ總裁ヲ以テ會長トナス若シ總裁出席セサルトキハ副總裁之ニ代ル

第二十四条 株主會議ハ毎株一ノ議決權ヲ有シ出席株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ決議ヲナス可否同數ナルトキハ會議長之ヲ定ム

第二十五条 株主カ出席シ能ハサル者アルトキハ他ノ株主又ハ總裁ノ認可ヲ経タル代理人ニ委託シ代表シテ出席スルコトヲ得

第二十六条 株主會期ノ三十日前ニ会社ヨリ日時会場事項ヲ各株主ニ通知スヘシ

(附記二)

通惠公司役員氏名表

(四年八月三十日選舉)

通惠公司臨時董事十三人	
阿穆爾靈圭	十二票
梁士詒	十二"
施肇曾	十二"
虞和德	十二"
張鎮方	十一"
袁乃寬	十一"
李士偉	十一"
伝増湘	十一"
李湛陽	十一"
袁克文	十一"
孫多森	十一"
王錫彤	十一"
薩福樞	十一"
臨時監査員五人	十二票
王克敏	十二票
四二二 十月十五日	石井外務大臣ヨリ 在上海有吉總領事宛(電報)

四〇六

規則ヲ改正スルトキハ仍ホ議案ヲ添送スヘシ

第六章 結算

第二十七条 本会社ハ毎年三月末日ヲ以テ結算期トナス

第二十八条 每年結算期ノ純益ハ之ヲ十二分スルモノトス其分配方ハ左ノ如シ

積立金一分準備金一分 優先株特別配当金二分 全体ノ株主配当金七分(優先株へハ仍ホ一樣ニ配当ス) 職員賞与金一分

第二十九条 総經理ハ毎年ノ結算期ニ結算書資産簿貸借対照表營業報告書損益計算書ヲ造リ監察員ノ検査捺印ヲ経テ總裁副總裁ニ上申シタル後株主會ニ提出シ其承認ヲ請フヘシ

第三十条 本会社規則ニ変更ヲ要スル者アルトキハ董事會ニテ起稿シ株主會ノ議決修正ヲ經テ部ニ上申スヘシ

其他ノ未タ尽サザル事項ハ株式有限公司条例ニ照シテ之ヲ処理スヘシ

第三十一条 本支店ノ事務細則ハ總經理ヨリ起稿シ總裁ニ上申シ董事會ニ提出シ議決シテ施行スルモノトス

第七章 附則

第三十二条 本会社規則ニ變更ヲ要スル者アルトキハ董事會ニテ起稿シ株主會ノ議決修正ヲ經テ部ニ上申スヘシ

其他ノ未タ尽サザル事項ハ株式有限公司条例ニ照シテ之ヲ処理スヘシ

第三十三条 本支店ノ事務細則ハ總經理ヨリ起稿シ總裁ニ上申シ董事會ニ提出シ議決シテ施行スルモノトス

南潯鐵道公司ノ通惠公司トノ交渉ニ付真相突
止方訓令ノ件

第一一六号

本大臣宛在支代理公使發電第五三八号ニ閔シ九江發東亜着電ニ依レハ虞愚ハ南潯鐵道總理ニ内定ノ模様ニテ十月二十日株主總会ニ於テ決定ノ筈又通惠トノ交渉ハ虞總理トナリタル上決定ノ様子尚羅ハ其ノ内辞職スヘシトノ風評モ有之趣ノ結果シテ然ラハ通惠側トノ交渉モ漸次其ノ歩ヲ進メムトスルモノト認メラルニ付右事実ノ真相突止メ回電アリタシ

右訓令トシテ北京、九江ニ転電アリタシ

四二三 十月十五日

門野重九郎ヨリ

小池政務局長宛

南潯鐵道資金ニ閔スル大倉組北京出張員來信

報告ノ件

大正四年十月十五日

大倉組

門野重九郎(印)

拝啓弊社河野久太郎目下北京ニ出張致居リ候折柄江西鐵道

小池政務局長殿

先ハ右御報道迄如此御座候 敬具

拝啓弊社河野久太郎目下北京ニ出張致居リ候折柄江西鐵道

四二四 十月十五日

小池政務局長ヨリ

古市東亜興業株式會社社長宛

南潯鐵道公司ノ資金調達ニ閔スル大和久事務

代理ノ報告内報ノ件

拝啓兼テ御承知ノ南潯鐵道公司ノ件ニ閔シ今般在九江大和久事務代理ヨリ通惠公司ハ同鐵道公司ニ對シ新株募集ノ条件トシテ利子保証六十万弗ヲ要求スル趣ニテ右ノ次第在京該鐵道事務所ヨリ南昌官憲並董事側ニ謀リタルニ董事等ハ江西省ノ貨物ニ附加税ヲ課シ之ニヨリ得タル收入ヲ以テ右利子保証ニ充テントシ昨今同地商會ト協議中ナルモ近來新稅賦課ノ為商民ノ苦情多キ折柄トテ反対者多ク到底成立ノ見込ナク該鐵道公司員等ハ今回ノ資金調達ニ閔シ悲觀シ居レル趣電報有之候間右及御内報候 敬具

鐸ニ問合セタル處事実ナリト云ヘリ

趙惟熙ヨリ江西巡按使宛電報ニ曰ク江西鐵道ハ困難ヲ極メ維持殆ト困難ナリ目下通惠公司ニ托シテ二百万弗ノ新株募集中ナルカ此事タルヤ本鐵道ノ将来ニ重大ノ關係アリ苟モ事理ニ明ナルモノハ之ヲ諒トスヘシ但新株主カ此巨額ノ資本ヲ投スル以上之ニ其全權ヲ委任セサルヲ得ス今後事業ノ遂行ハ通惠公司ヨリ推薦スル後任者ト諸事可然規定シ速ニ成効ヲ計ルヘシ株主總会開会ノ際何等齟齬ナキ様十分此趣旨ヲ説明アリタシ云々

當時趙ニ對スル巡按使回電ニ曰ク江西鐵道ニ閔シ色々御配慮ノ段多謝ス通惠公司ノ新株引受ニ閔シテハ官民共ニ感謝スル處ナリ全權委任ニ閔シテハ株主ニ於テモ異議ナカルヘシト考ヘラル御來電ノ通説明方可然取計フヘシ云々

四二五 十月十八日

在中國小幡臨時公使ヨリ

石井外務大臣宛(電報)

南潯鐵道公司ノ資金調達ニ閔スル漢字新聞記

事報告ノ件

第五七二号

十月十五日當地漢字新聞ニ左ノ如キ記事アリタルニ付李盛

四 南潯鐵道ニ閔スル件 四二四 四二五 四二六

資金ノ件ニ付左記ノ通り來信有之候御参考ノ為供貴覽候電報ニテ申上候通り小生先月末当地ニ参り候處突然昨日江西鐵道羅朗山來訪其話ニ拠レバ通惠公司ニ於テ鐵路新株二百五十萬元ヲ引受ケ其要部ノ役員ハ該公司ヨリ人選スル事トシ既ニ總理トシテ浙江人虞愚(現在吉長鐵路技師日本遊學者)ヲ挙ケント目下虞氏ニ交渉中ニテ二三日内ニ決定スルナラントノ事ニ有之候其上資金ハ直ニ江西ニ送付スル由ニ御座候現在ノ鐵路重役連ハ余程不平ナル由ナルモ資金欠乏ノ折ナレバ一言ヲ發スル訳ニ參ラズ孰レ新重役連ノ仕事振ヲ見ント申居候由ニ御座候

通惠公司ハ梁士詒楊士琦孫多森等當地官吏有力者ノ發起ニ係リ資金五百萬元払込ミニ百二十五萬元ト云フ但シ江西新株払込資金ハ中國壇業交通銀行ヨリ借入ヲナス由該公司ノ目的ハ歐州戰亂ノ際外債募集出來ズ急設ヲ要スル未成鐵路資金ニ苦ミ居ルモノニ對シ資金供給ノ主旨ナルモ動機ハ日支交渉ノ折漢治萍日支合同反対ヲ利用シ大資ヲ集メ不利ナル外資ヲ返済セント呼ビ立テ設立ヲ見タルモノニ御座候 以上

第一〇七号

四二六 十月十九日

在上海有吉總領事ヨリ

石井外務大臣宛(電報)

南潯鐵道公司ノ通惠公司トノ交渉ニ閔シ回申

ノ件

四〇九

通ノ場合実ニ咽喉タルノ幹線ナレハ中央ニテ最モ重視シ是非共同鐵道公司ノ弊ヲ一掃シ自國人ノ手ニテ将来共經營セントスル意向ナルヲ以テ多少ノ困難ハ中央ノ威力ニテ断行スヘキナリトテ六十万元ハ到底調達シ得サル可シ通惠公司トテ自己ノ立場ノ安全ヲ計リ表面六十万元ヲ要求スルモ愈々右希望ノ額ヲ得ラレサルニ至ラハ調達シ得ル程度ニテ満足シ新株ニ出資スヘシ通惠公司ハ中央政府ト密切ノ関係アリ将来政府ノ後援ニ待ツ事多カルヘキニ付キ今回政府力熱心ニ南潯線ノ改革ヲ希望シ此ノ大任ヲ通惠ニ嘱望スル以上ハ通惠公司ハ面上多少犠牲ヲ払フモ必ラス經營ノ任ニ当ル可シ兎ニ角本月二十一日ハ南昌ニ於テ各界ノ商人貨股調達ニ閔シ會議ノ筈ナリ虞愚總理說ハ世評区々ニシテ自分(徐以)モ斷言出來サルカ彼レカ愈々就任スルトセハ通惠ノ新株モ成立スルモノト察セラル已ニ通惠公司ノ經營ニ帰シ虞力同公司側ヨリ推サルル以上從來ノ經營ニ不滿ナル虞ノ態度ニ鑑ミ羅トノ調和ハ望ム可カラサルヲ以テ自然羅協理ハ辭職スルニ相違ナカル可シ南潯線ハ大倉ノ架橋工事モ大略竣工シタルヲ以テ鐵橋材料購入費大倉ノ工事費其他目前ニ迫リ必要止ムヲ得サル資金五六六十万元ヲ要スル次第ナレ

ハ北京方面ニテ其丈調達セラルレハ羅協理ハ至急帰任ノ筈ナリ自分モ前任時代ノ事務引続ノ為態々当地ニ出向キ已ニ二週間モ羅ノ帰任ヲ待テリ尚又本月二十五日ノ株主総会モ羅ノ帰任ナキ為二十七日ニ延期シ居レル今日尚羅ノ帰任ナキハ北京方面ノ資金調達ノ困難ヲ窺知スルニ難カラス自分ノ考ニテハ南潯線ハ交通上有望ノ線トハ云ヘ已ニ一千万元以上ノ經費ヲ投スル以上到底将来北線ノミニテハ利益ヲ上クル能ハサル事勿論ナルニ付キ通惠公司力愈々經營スル上ハ福建線廣東線ヲ計画シ其方ノ利益ヲ以テ南潯線ノ欠損ヲ補フ事ニナルヘシ云々

別紙新聞記事訳文添付旁御参考迄ニ右報告申進候也

写送付先 北京公使

註 別紙新聞記事訳文省略

四三〇 十月三十日 在上海有吉總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

南潯鐵路公司ノ資金借入問題ニ閔スル同公司

羅協理ノ内話報告ノ件

第一二二号

公使及九江へ転電セリ

南潯鐵道ニ閔シ昨二十八日北京ヨリノ帰途立寄レル羅朗山ノ内話ニ依レハ通惠公司ニ於テ百五十万元ノ新株引受ハ確定シ二週間内ニ若干ノ金額(五十万元以内)ヲ前渡サルヘク本年中ニ總計百五十万元ノ支出ヲ得ル筈ニシテ利子其他ハ旧株同様利益アレハ配分スヘク別ニ担保等ナク右利子担保等ノ話ハ東亜興業ヨリノ借款ニ對シ年々巨額ノ利子ヲ仕払フヲ要スルヨリ之カ支出方ニ付通惠側ニ於テ懸念ヲ懷キ株券増徵等ノ議アリタルモノナルモ之ハ通惠ヨリ先ツ出資シ工事完成ノ上ニ議ル事トシタルモノニシテ右ノ資金ハ実ハ政府ヨリ支出サルルモノニシテ(之ハ同人ニテ本官マテノ極内ノ話ト断ハリ居レリ)他ニ密約モナク決シテ外債ニアラストシ新旧ノ株主ハ同等ノ権利ナルモ通惠側ハ旧役員ヲ可成全部交迭ノ希望アリ旁自分ノ地位ハ、虞愚ハ留任ヲ希望シ居ルモ或ハ退任スルニ至ルヤモ知レスト云ヒ本件ハ元々吳鈁ニ於テ万事切盛リシ自分ハ略ホ確定ノ上ニテ北京ニ召集セラレタルモノニテ日本側トモ予メ打合セ得サリシモノナリト称ス尚本件ニ閔シ東亜興業カ毫モ容喙等ヲナササリシ事ハ當節一般ニ評判宜敷他日本線落成ノ上ハ更ニ延長線等ニ閔シ必ズ日本側ニモ亦出資ヲ請フ事トナルヘシト

ノ御世辞ヲ述ヘ居タリ而シテ北京ニ於テ通惠公司ニ對スル鐵路側ノ代表者ハ李盛鐸趙惟熙之ニ任セラレタリトノ事ナリ羅ハ明日杭州ニ吳鈁ヲ訪ヌ數日中ニ九江ニ赴ク筈ナリ公使九江へ転電

四三一 十月三十一日 在中國小幡臨時代理公使ヨリ
財政部ヨリ南潯鐵路公司ニ通惠公司名義ノ立替金五十万弗引渡等ニ付李盛鐸談話ノ件

第五九三号

十月三十日李盛鐸ノ船津ニ語リタル所ニ拠レハ今回財政部ヨリ南潯鐵路公司ニ對シ通惠公司名義ニテ一時立換ユルコトトナリタル五十万弗ハ愈々新總理虞愚ニ引渡サレタルニ付羅朗山ハ去ル十月十七日上海へ向ケ当地出発シタル由然ニ虞ハ其ノ後更ラニ百万弗ノ調達ヲ通惠公司ニ要求シ其ノ協商未タ纏マラサルタメ今尚滬京中ナリ南潯鐵路カ今後尚鉅額ノ資金ヲ要スルハ勿論ナルモ差当リ焦眉ノ急ニ応スルニハ前記五十万弗ニテ差支ナキ筈ナルニ虞力更ラニ鉅額ノ調達ヲ要求シタルハ如何ナル事情ニ基クヤ未タ虞ノ説明ヲ聞カサルニ付明言スル能ハス要スルニ自分等江西省人ノ

四 南潯鐵道ニ閑スル件 四三一

立場ヨリ云ヘハ其ノ資金カ何レヨリ調達サルルモ其ノ辺ハ

問フ所ニアラス目下我政府ノ意嚮ハ努メテ外国ノ資本ヲ排

斥セムトスルニアルモノノ如ク此ノ際南潯トシテハ無理ニ

政府ノ意嚮ニ反シ外国ヨリ借款スル訳ニ行カス當分政府ノ

好意的措置ニ一任スル外ナシ云々

上海九江ヘ郵報セリ

註 前掲二八文書中通惠公司ニ閑スル部分参照

総支配人心得代理 武内金平

東亞興業株式会社

社長 古市公威殿

拝啓小池政務局長ヨリ申出モ有之江西鐵道ニ対スル通惠公

司ノ借款ニ閑スル小田切正金銀行取締

被下度候 拝具

(別紙)

十月二十二日小田切正金銀行取締

役報告別紙写ノ通り接受致候間為御参考貴賤候 敬具

(附属書)

是ニ於テ本役ハ話頭ヲ江西鐵道ニ対スル通惠ノ借款問題ニ

転シ孫ニ対シ其近状ヲ聞クヲ得ヘキカト尋ネタル処同人ノ

答フル所ニ拠レハ

同鐵道ノ資金ニシテ江西人民ノ出資ニ係ルモノ約百五十

万元アリ又日本側ヨリノ借款総額七百余万円アルノミナ

ラス其他物品購入支払代価滯リモ少ナカラス然ルニ今ヤ

大正四年十一月三日

東亞興業株式会社

外務省

小池政務局長殿

拝啓通惠公司對南潯鐵道公司ニ閑スル小田切正金銀行取締

同鐵道ハ資金全然欠乏シ他ヨリ借款スルニアラサレバ一

歩モ事業ヲ進行スルコト能ハサルノミナラス会社其物ヲ
モ維持スル能ハサル境遇ニ在リ交通部ノ該鐵道ニ対スル

態度甚夕冷淡ニシテ敢テ之ヲ救濟セントスル念ナク去リ
逆支那官民ニ於テハ其儘等閑ニ付スルヲ得サル事情アル

カ為不得已通惠ニ於テ新ニ株券ヲ引受ケ代表者トシテ施

愚ナルモノヲ派遣シ彼ヲシテ該工事ヲ完成セシムルコトニ決セリ通惠對該鐵道ノ關係ハ此点

ニ於テ通惠對漢治萍ノ關係ト一大相異アリ現ニ通惠ノ予
算スル所ニ拠レハ明年末迄ニ該鐵道ノ要スル費用ハ工事

費物品購入代価滯金支払及日本側ニ支払フヘキ借款利息
等合計約四百五十万元ナリ

ト相語リ候一方本役カ或ル信用スヘキ方面ヨリ入手セル報

告ニ拠レハ通惠カ既ニ引受ヲ承諾セル鐵道株ハ二百五拾万
元ニシテ其中不取敢五拾万元ハ財政部ヨリ一時融通ヲ受ケ

テ之ヲ鐵道ニ交付シ(中國銀行ヲ經由スルモノト思ハル)
又本年末迄ニ三四十万元ヲ交付スル筈ナリトノ事ニ有

之候要スルニ江西鐵道ノ支配權ガ通惠ニ移リツツアルハ最
早疑ヲ容ルルノ余地無之候

写

役報告別紙写ノ通り接受致候間為御参考貴賤候 敬具

四一四

大正四年十一月二日

横浜正金銀行

好意的措置ニ一任スル外ナシ云々

上海九江ヘ郵報セリ

註 前掲二八文書中通惠公司ニ閑スル部分参照

総支配人心得代理 武内金平

東亞興業株式会社

社長 古市公威殿

拝啓小池政務局長ヨリ申出モ有之江西鐵道ニ対スル通惠公

司ノ借款ニ閑スル小田切正金銀行取締

被下度候 拝具

(別紙)

十月二十二日小田切正金銀行取締

役報告別紙写ノ通り接受致候間為御参考貴賤候 敬具

(附屬書)

是ニ於テ本役ハ話頭ヲ江西鐵道ニ対スル通惠ノ借款問題ニ

転シ孫ニ対シ其近状ヲ聞クヲ得ヘキカト尋ネタル処同人ノ

答フル所ニ拠レハ

同鐵道ノ資金ニシテ江西人民ノ出資ニ係ルモノ約百五十

万元アリ又日本側ヨリノ借款総額七百余万円アルノミナ

ラス其他物品購入支払代価滯リモ少ナカラス然ルニ今ヤ

大正四年十一月三日

東亞興業株式会社

外務省

小池政務局長殿

拝啓通惠公司對南潯鐵道公司ニ閑スル小田切正金銀行取締

同鐵道ハ資金全然欠乏シ他ヨリ借款スルニアラサレバ一

歩モ事業ヲ進行スルコト能ハサルノミナラス会社其物ヲ
モ維持スル能ハサル境遇ニ在リ交通部ノ該鐵道ニ対スル

態度甚夕冷淡ニシテ敢テ之ヲ救濟セントスル念ナク去リ
逆支那官民ニ於テハ其儘等閑ニ付スルヲ得サル事情アル

カ為不得已通惠ニ於テ新ニ株券ヲ引受ケ代表者トシテ施

愚ナルモノヲ派遣シ彼ヲシテ該工事ヲ完成セシムルコトニ決セリ通惠對該鐵道ノ關係ハ此点

ニ於テ通惠對漢治萍ノ關係ト一大相異アリ現ニ通惠ノ予
算スル所ニ拠レハ明年末迄ニ該鐵道ノ要スル費用ハ工事

費物品購入代価滯金支払及日本側ニ支払フヘキ借款利息
等合計約四百五十万元ナリ

ト相語リ候一方本役カ或ル信用スヘキ方面ヨリ入手セル報

告ニ拠レハ通惠カ既ニ引受ヲ承諾セル鐵道株ハ二百五拾万
元ニシテ其中不取敢五拾万元ハ財政部ヨリ一時融通ヲ受ケ

テ之ヲ鐵道ニ交付シ(中國銀行ヲ經由スルモノト思ハル)
又本年末迄ニ三四十万元ヲ交付スル筈ナリトノ事ニ有

之候要スルニ江西鐵道ノ支配權ガ通惠ニ移リツツアルハ最
早疑ヲ容ルルノ余地無之候

敬具

四 南潯鐵道三閥スル件 四三三

四三三 十一月四日 在九江瑞東亞興業嘱託員ヨリ

南潯鐵路公司ノ通惠公司ヨリ借款ニ閥スル現

況報告ノ件

小池局長殿 侍史

(十一月十二日接受)

拝啓時下秋冷ノ候倍御清穆奉恭賀候陳ハ已ニ御承知通り過般北京ニテ江西鐵道代表李盛鐸趙惟熙及羅朗山等ヨリ承り候如ク鐵道對通惠トノ交渉ハ相纏マリ居リテ只通惠ガ其約束ヲ實行スルカ否ノ問題ト相成居候度々申上候通リ支那政府力可成日本關係ノ資金ヲ排斥セントスル下心ヨリ今度ノ江西鐵道ヲ通惠ヲシテ救濟セシムル様相成候次第ニテ江西代表者トシテハ只資金ヲ得サヘスレハ其出所ヲ問フ場合ニアラス況ンヤ政府側ノ意向トシテ日本資金ヲ拒ムニ於テハ結局通惠ノ所為ヲ見タ上ノ事ニアラスシテハ此際別ニ好キ方法ナシトハ鐵道側全体ノ意向ニテ又我東亞トシテモ暫ク傍観スル外策ナシト愚考仕候然ルニ先月末ニテ當地ニ赴任スヘキ新總理虞愚ハ今日ニ至ルモ來ラス從テ旧董事連モ亦局内諸員モ仕事手ニ就カス況ンヤ工事万端見逃カス可ラサル好時機ニアリナカラ皆々手ヲ空フシテ只北京ノ空ヲノミ

ナキコトハ確ニテ只財政部ノ都合ニ由リ何時江西トノ關係ヲ解除セストモ不限候仍チ其際ハ直ニ踏込此権利ヲ獲得スヘキ準備トシテ少クモ式百万円ノ資金ハ御用意相願度兼々御留意祈入候

只今北京來電新總理虞江西赴任ハ本月二十日頃トナルベシ通惠貸与ノ資金増加ニツキ目下協議中云々

虞力携ヘ行クト云フ百万元ノ資金カ通惠ニテハ工面出来スニ居ル故ナランカ夫レトモ他ニ理由アルカ江西ニテハ本月八日ニ株主總会ヲ開クコト相成居候是モ已ニ三度延期シテ八日トナリタルモノニ候虞又羅等カ來ラサレハ又々流会トナラン株主中大分不平ノ声モ有之候

右現況御通知旁草々 敬具

十一月四日

九江 榊 三郎(印)

四三四 十二月六日 小池政務局長ヨリ
古市東亞興業株式会社社長宛

南潯鐵路公司新役員ノ動靜ニ閑スル件

拝啓陳者在九江大和久事務代理ヨリ十二月四日發電報ヲ以テ虞愚(南潯鐵路新總理)十一月二十六日新株主側推舉ノ

四 南潯鐵道ニ閑スル件 四三四 四三五

第二九号

南潯鐵路公司委員ノ密話ニ依レハ總理協理ノ間ニ意見ノ衝突アリタメニ新協理等ハ就任ヲ肯セヌ株主總会ヲ眼前ニ控ヘナカラ急ニ帰京セリ虞ハ頗フル專横ノ態度ヲ持シ且役員ノ大部分ヲ罷免シ自分ノ知人ヲ以テ之レニ代ヘントシタルヲ以テ内部ニ動搖ヲ來シ從テ虞ノ計画意ノ如クナラサルヲ以テ數日前辭表ヲ董事會ニ提出シタメニ公司ノ前途ニ一頓

四一六

眺メ居ル有様ニ候本日北京ヨリ來信ニ由レハ虞總理ハ自分赴任スルニハ少クモ壹百萬元ノ現款ヲ携行セサレハ仕事ニ着手シ難シトテ目下通惠ヘ交渉中トノコト申来リ候是ニ由

リ來延引ノ理由相分リ候御承知ノ通り通惠ノ方ニテハ先ツ江西鐵道引続ノ為メ五十万ノ現款ヲ支出シ新總理ヲ出立セシムル筈ノ予定ニテ此五十万モ通惠自身ニ資金ナキ為メ財政部ガ通惠ニ融通スル七十五萬元中ヨリ五十万ヲ江西ニ貸与セシムルコトト相成居候然ルニ新總理ヨリ更ニ増額シテ百万元ヲ与ヘサレハ江西鐵道ノ引続出来ヌト來テハ通惠モ差当リ其調達ニ苦ミ居ルニハアラサルヤ殊ニ外款利息保証ノ為メ江西省内ニテ新ニ六十万元ノ調稅取立ノ件ハ巡按使ヨリ商會其他ニ諮詢ニ付セシモ反対ノ声高ク成立行惱等ノコトモ有之此際一時通惠ニテ莫大痛事ニアラスヤトモ相考候併シナカラ支那政府内殊ニ財政部ノ周學熙ヤ楊士琦孫多森等ノ一派ニテハ可成日本ノ資金ヲ排斥スルニ務メ居リ候折トテ且ツ今日マテノ行掛リ上一時ハ此江西鐵道ニ対シテモ投資ノ方法ヲ實行スルナラントモ存候李盛鐸等モ當分財政部ノ意ノママ進行サセル外無之ト申居候何レハ二三ヶ月傍観ノ位置ニ立ツ外無之候乍併通惠ノ方ニテモ充分覺悟

第二九号

南潯鐵路公司ノ内部動搖ニ閑シ報告ノ件

四三五 十二月七日 在九江大和久事務代理ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

南潯鐵路公司新役員ノ動靜ニ閑スル件

拝啓陳者在九江大和久事務代理ヨリ十二月四日發電報ヲ以テ虞愚(南潯鐵路新總理)十一月二十六日新株主側推舉ノ

四 南潯鐵道ニ閑スル件 四三四 四三五

四一七

挫ヲ來シ八日ノ株主総会モ中止スルニ至レリト
北京ニ転電在上海總領事ニ郵報セリ

四三六 十二月九日 在九江大和久事務代理ヨリ
石井外務大臣宛

南潯鉄路公司新總理協理間ノ意見衝突ニ闕シ

報告ノ件

政機密往信第一三号

(十二月二十日接受)

大正四年十二月九日

在九江

領事館事務代理 大和久義郎(印)

外務大臣男爵 石井菊次郎殿

南潯鉄路公司新總理一行江西省赴任後ノ概況ハ本月四日付第二八号同七日付第二九号抽電ヲ以テ報告申進候處虞一行当地着ハ客月二十六日ニシテ翌日南昌ニ向ヒ小官面会ヲ求メタルモ病氣ト称シテ面会ヲ拒ミ尚公司員等モ虞ノ來潯ヲ秘シ一行ノ消息三付テハ毫モ談ルヲ欲セズ從テ虞ノ來潯及使命等ヲ知ルニ由ナク爾來勤メテ虞ノ活動ニ留意致候ヘ共公司側ハ何事モ秘密ヲ守リ真相ヲ漏サザル為遺憾ナガラ的確ノ報告モ致シ難ク候虞ハ其後二回九江へ來リシ由報ニ接

見斯ク參差不齊ナル為如何トモスル能ハズ然ルニ虞ハ公司側役員ニ向テ鉄路ノ将来ハ協理ヲ要セズ自分獨リニテ總協理ノ任ニ當リ以テ工事ノ促進ヲ計ル方公司ノ為利便ナリトテ公然ニ劉ヲ排斥シニ劉並ニ同行通惠公司員等ハ虞ノ態度已ニ此ノ如キニ於テハ一先北京ニ帰リ新株主側ト協議スベシトテ本月三日劉世珍及通惠公司役員共ニ上京セリ尤モ劉廷琦ハ九江附近ノ人ナル由ニテ一旦郷里ニ帰リ劉世珍ノ上京復命ノ結果ヲ待ツ事トセリ虞ノ來潯ト前後シテ吉長鐵路旧役員及浙江同鄉人ニシテ虞ニ頼リ南潯線ニ職ヲ求メントテ当九江南昌ニ向ヒタル者百余名多キニ達シタルハ事實ナルヲ以テ南潯鉄路公司内部吏員モ虞ノ就任後ハ到底失職ノ止ム可カラサルモノト信シ不安ノ状態ニテ暗ニ劉ノ態度ニ同情シ策ヲ講シテ虞ノ專横ヲ捏造外伝シタルモノノ如クスクシテ虞モ対策意ノ如クナラサルヲ以テ本月三日漂然辭表ヲ公司側並ニ通惠新株主側ニ呈シ外間ノ物議ヲ避ケン為病ト称シ盧山ニ引籠リ為ニ南潯鉄路公司ハ曩ニ掲示シテ新總理協理ノ内定モ略決シタルヲ以テ十二月八日南昌ニ株主総会ヲ開クベシ株主中來会セザル者ハ默認ト認メ如何ナル事アルモ再ビ緩期セザルベシト声明シナガラ同三日公司

ハ突然北京外埠ノ代表者來会セザルモノアルヲ以テ總会ヲ延期スベキ旨広告セリ是全ク總協理衝突ノ結果一大紛擾ヲ來シタルヲ以テロヲ代表者未着ニ藉リ總会ヲ延期シタル事ハ一点ノ疑ナキ次第ニ有之從來苦情多キ南潯鉄路ノ前途又復暗雲ニ鎖サレタル次第ト存候羅朗山ハ新總理協理就任後ハ一先辞職シ董事又ハ顧問トシテ後見役ノ任ニ當ル意向ナリシモ今ハ難局ニ臨ミ一人煩惱致居ル模様ニ存ゼラレ候尚劉協理ノ携帶シタル新株金ニシテ羅朗山ニ交付セル現款ハ計二十万弗ヲ越ヘザル由外間ノ噂ニ候其支出ハ鉄路公司役員ノ俸給及雜費ノ滯計五万弗諸工事費中我大倉洋行ヘハ約五万弗ノ支払承諾セルモ今ニ支払ヲ了セズ其他小工事費トシテ數万弗ノ支払ヲ了シタル丈ケナリトノ説ニ候

前陳ノ取調尚杜選ノ嫌有之候間客月下旬以降南昌新聞ニ掲載セル南潯鉄路ノ記事訣出以別紙報告致候右記事トテ揣摩憶測甚ダ多キヲ以テ一概ニ信ヲ置クニ足ラザル様存ゼラレ候ヘ共前後御通覽相成候ハバ多少南潯鉄路ノ近況ヲ窺知シ得ラル可キカト存候

右報告申進候也

四 南潯鉄道ニ闕スル件 四三六

シ小官ハ更ニ三回訪問シタルモ其都度事ニ托シ面会ヲ拒ミ本月三日急ニ盧山避暑地ニ藏シ今ニ下山致サズ外間ノ謡言甚ダ多ク南昌新聞ニモ虞等一行ニ對シ種々ノ憶測ヲ逞シ居リ候今外間ノ謡言ヲ綜合シ稍真相ニ近キ所ヲ察スルニ虞總理ハ客月二十六日隨員三名ト共ニ当地ニ着シ新協理劉世珍劉廷琦ノ二名ハ同月二十八日財政部及通惠公司ニ闕係セル役員計四名ト共ニ当地ニ着シタルモノノ如ク劉協理等ハ北京滯在中ヨリ虞總理ト意見感情ノ衝突アリ劉等二人ハ財政總長周學熙ノ縁戚ニ當リ今回通惠新株トシテ支出シタル財政部立換金數十万弗モ右劉等管理ノ下ニ在ルヲ以テ虞總理ハ内心深ク不快ヲ抱キ加フルニ虞ハ鉄路公司ノ前途ニ対シ積極主義ヲ取り劉等ハ漸進主義ヲ唱ヘ其間意見ノ相違アリ為ニ虞ハ劉協理等ト事ヲ共ニセバ到底自信ヲ断行スル能ハスト見テ單獨江西ニ赴任シタリ劉等モ虞ノ態度ヲ不快ニ感シ成可虞ヲ避ケツツ南昌ニ赴キ勝手ニ南潯鉄路公司ト協議ヲ成シタル為兩者ノ感情益々疎隔シタリ虞ハ公司前途ノ経営ニハ約五百万弗ヲ要スル計画ヲ立テ之レヲ公司ニ計ルニ劉等ハ二百万弗位ノ支出ヲ以テ差当リ応急工事費ニ充テ其ハ漸進的計画ヲ持シ公司側ニ計リシニ公司モ總協理ノ意

四 南潯鐵道ニ閔スル件 四三七 四三八 四三九

註 別紙省略

四二〇

第七一四号南潯鐵道ニ閔シ十二月二十二日李盛鐸力船津ニ
語ル所左ノ如シ

四三七 十二月二十日 石井外務大臣ヨリ 在中國日置公使宛（電報）

東亞興業ヨリ南潯鐵路公司ヘノ貸付金利息支
払ニ閔シ交通部側ニ交渉方訓令ノ件

第六七九号

南潯鐵道ニ対スル東亞興業借款利息ハ本年末日期限到来ス
ル處交通部ハ御承知ノ通義ニ通惠ヲ利用シ東亞対南潯新借
款成立ヲ妨害セルノミナラズ今又右利息ノ支払ヲモ妨害セ
ントシツツアル趣ニテ東亞ヨリ申出ノ次第モアルニ付貴官
ハ李盛鐸其他然ルベキ筋ヲ通ジ適當ノ方法ニテ右利息支払
ノ運ト相成様交通部側ニ交渉ヲ遂ケラレ度シ

右為参考九江ニ転電アレ

四三八 十二月二十三日 石井外務大臣宛（電報） 在上海有吉總領事ヨリ

東亞興業借款利子ノ仕払及南潯鐵路公司總理

虞恩ノ辞職ニ閔シ李盛鐸談話ノ件

第一六五号

公使發第六六号

敬具

外務省

政務局長 小池張造殿

大正四年十二月二十九日

東亞興業株式會社

社長 古市公威

四三九 十二月二十九日 古市東亞興業社長ヨリ 小池政務局長宛

南潯鐵路公司貸付金ニ対スル利息金受領ノ旨

報告ノ件

拝啓予テ御配慮ヲ蒙リ候江西南潯鐵路公司貸付金ニ対スル
当期利息金貳拾四万參千七百五拾円也二十八日漢口ニ於テ
受取ヲ了シ本日送金ニ接シ候間此段不取敢及御報告候